

Guide Book to

# Foreign Language Study



外国語学習ガイドブック 2025



## Discover the World

高度な外国語運用能力や、外国の文化や社会に対する柔軟な理解力の養成は、本学の使命でもあります。外国語によるコミュニケーション能力を身につけること、外国語学習を通して異文化理解力を深めることを目的として、英語およびドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、韓国語の7か国語について、4年間の段階的、体系的カリキュラムを提供しています。外国語を学び、その言語の背景となる文化への理解を深め、コミュニケーション能力を養うことにより、多様な人々の営み、世界観や価値観に触れてみてください。「ことば」の学習をきっかけとした様々な言語体験を通じて、皆さんが豊かな世界観を形成することを期待します。



# 同志社大学の「国際主義」

Developing individuals who are not only competent in foreign languages, but can also accept the different values of other cultures and discover something meaningful from them.



# 同志社大学 外国語学習の

# 3

## つの特徴

### 1

語学レベルに  
合わせた習熟度別  
クラス編成を構築



### 2

学習意欲に  
応じて受講可能な  
学習プログラム



### 3

外国語学習への  
多様なサポート



外国語の授業を受講するにあたっての心構え

「外国語の授業とは、教師と学習者との共同作業である」

(Allwright, 1992)

外国語の授業とは、教師、学習者それぞれの役割を認識し、教師と学習者で共に作り上げていくものとなります。

学生の皆さんは、学習者がなすべきことを認識し、授業に臨んでください。

#### 教師がなすべきこと

クラスをモニターする

- 学生の理解度
- 学生が授業についてきているか

学習者の習得に適したレベルの  
外国語を使用する

重要な事項は板書する

#### 学習者がなすべきこと

教師に尋ねる

- 指示がわからない時
- 質問がある時
- ゆっくり話してほしい時
- 板書してほしい時

こちらの外国語学習ガイドブックは新入生向けとなります。在学生は入学時に配布された外国語学習ガイドブックを確認してください。

## Contents

1	04 英語科目
	05 習熟度別クラス編成について
	06 科目概要
	07 1年次科目 登録方法
	09 同志社英語集中プログラムについて
2	10 初修外国語科目 (ドイツ語・フランス語・中国語・ スペイン語・ロシア語・韓国語)
	11 履修の流れ
	12 各外国語紹介
	18 1年次科目 登録方法
3	22 海外留学プログラム
	23 プログラム一覧
	24 プログラム報告・体験記
	39 プログラム統計(出願者・合格者)
4	40 外国語関連科目
5	43 外国語能力評価
6	44 多様なシステム・サポート体制
	44 "Go Global" ポートフォリオ
	46 e-Learning
	47 図書館の活用
	48 電子書籍の活用
	49 良心館ラーニング・コモンズ 「Global Village」の活用
	49 留学コーディネーター・ 留学アシスタント
	49 国際交流ラウンジ
	50 検定試験・対策講座
	51 留学に関する奨学金
	51 語学カウンセリング
7	52 制度紹介
	52 外国語honors(オナーズ)制度
	53 Doshisha "Go Global" Passport
	54 グローバル・リベラルアーツ副専攻

※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP, TOEFL EssentialsおよびTOEICはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けまたはその承認を得たものではありません。

# 1 英語科目

English



世界には約6,000の言語があるともいわれていますが、その中において、英語のlingua franca (共通語)としての地位、特に国際的なコミュニケーション・ツールとしての地位は、ゆるぎないものになっています。大学の4年間では、これまでに身につけた英語力をさらに補強しつつ、社会で期待される実践的な英語力の涵養を目指します。それと並行して、英語学習を通して様々な社会・文化・歴史などに触れることによって、社会人として必要な知識・教養を身につけてください。同志社大学の英語カリキュラムは、全科目において習熟度別のクラス編成を実施している基幹科目、意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目、留学に必要なTOEFL®テストやIELTS™対策を主として行う留学準備科目、そして海外留学プログラムも提供する深みと幅のあるカリキュラムとなっています。また、英語力の基盤づくりができれば、「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」(→40ページ参照)にステップアップし、将来を見据えてさらに英語力を伸ばしていきましょう。

## 英語科目学習プログラムの特徴

### Point 1

1・2年次で履修する科目は、英語で専門領域を学ぶための基盤づくりを行う体系的な構成となっています。1年次では英語学習の基盤づくりを目的とし、2年次では分野(文系・理系)を横断して共通に求められる英語力と各領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的としています。

### Point 2

入学前に受験したプレACEMENTテストの結果により4つのレベルに分けます。さらに、レベルごとに到達目標を設定した科目を設置しており、レベルに応じた科目を履修します。それにより、習熟度に応じたきめ細かな指導を行い、英語の運用能力や学修目標の多様化に対応しています。

### Point 3

意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目、留学に必要なTOEFL®テストやIELTS™対策を主として行う留学準備科目、海外留学プログラムも提供する深みと幅のあるカリキュラムとなっています。

## 習熟度別クラス編成について

同志社大学では1・2年次生で履修する基幹科目において、習熟度別クラス編成を実施しています。入学前のプレACEMENTテスト(本学ではCASECを採用)の結果に基づき、4つのレベルに分けます。

### 習熟度別に授業を行う目的

英語の運用能力や学修目標の多様化に対応し、習熟度に応じたきめ細かな指導を行うことを目的としています。

### レベル分けについて

プレACEMENTテストの結果に基づき、英語能力の高い順から **High Intermediate** **Intermediate** **Pre-Intermediate** **Basic** の4つのレベルに分けたクラス編成を行います。

### 履修する科目について

同じ到達目標の同じ科目を全員が履修する仕組みではなく、個々のレベルに応じた到達目標を設定した科目を履修する仕組みになっています。各レベルの到達目標、および履修する科目は次項以降を参照してください。

## 履修の流れ

標準的な年次配当

	1年次		2年次		3・4年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<b>基幹科目</b> (※1)	Intensive Advanced English 1・2 (各週2回・3単位)		General Academic English (LS) - Intermediate (週1回・1単位) General Academic English (RW) - Intermediate (週1回・1単位)			
	Core English (LS) - Intermediate 1・2 (各週2回・2単位) <sup>(※2)</sup> Core English (RW) - Intermediate 1・2 (各週1回・1単位)		General Academic English (LS) - Pre-Intermediate (週1回・1単位) General Academic English (RW) - Pre-Intermediate (週1回・1単位)			
	Core English (LS) - Pre-Intermediate 1・2 (各週2回・2単位) <sup>(※2)</sup> Core English (RW) - Pre-Intermediate 1・2 (各週1回・1単位)		General Academic English (LS) - Pre-Intermediate (週1回・1単位) General Academic English (RW) - Pre-Intermediate (週1回・1単位)			
	Basic English (LS) 1・2 (各週2回・2単位) <sup>(※2)</sup> Basic English (RW) 1・2 (各週1回・1単位)					
<b>上級科目</b>			English for Professional Purposes 1・2 (各週1回・1単位) <sup>(※3)</sup>			
			English for Academic Purposes 1・2 (各週1回・2単位) <sup>(※4)</sup>			
					English for Academic Purposes 3 (週1回・2単位) <sup>(※4)</sup>	
<b>留学準備科目</b>			Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2 (各週2回・2単位) <sup>(※3)</sup>			
			Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2 (各週2回・2単位) <sup>(※3)</sup>			
<b>海外留学プログラム</b>			サマープログラム			
			スプリングプログラム			
			セメスタープログラム			
<b>派遣留学</b>			外国協定大学派遣留学			

(※1) 習熟度のレベルによって履修する科目が異なります。各レベルの到達目標、および履修する科目は次項以降を参照してください。

(※2) 週2回の授業となりますが、対面授業1回、e-Learningによるオンライン授業1回のハイブリッド型の授業となります。利用するe-Learningは46ページを確認してください。

(※3) 登録資格(CASECのスコア)がありますが、選考試験はありません。

(※4) 登録資格(外部テストのスコア)があり、選考試験が行われます。

## 到達目標

レベル毎にヨーロッパ言語参照枠(CEFR: Common European Framework of Reference for Languages)に準じて設定した到達目標は以下の通りです。

レベル	到達目標(CEFR)
High Intermediate	B2
Intermediate	B1~B2
Pre-Intermediate	A2~B1
Basic	A2

※レベルは入学前に受験したプレACEMENTテストの結果で振り分けられますが、途中でレベルアップすることも可能です。学期の開始前の科目登録期間にCASECを受験する機会を設定しますので受験を希望する場合は、申込みを行った上でCASECを受験してください。スコアに応じたレベルアップが可能です。CASEC受験の申込方法は、本学ホームページで公開する科目登録日程を確認してください。春学期は1月中旬、秋学期は7月中旬に科目登録日程が公開されます。

## 1・2年次履修科目

レベル毎に1・2年次で履修する科目は以下の通りです。

レベル	1年次		2年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
High Intermediate	Intensive Advanced English 1・2		English for Professional Purposes 1・2(※1)	
Intermediate	Core English (LS) - Intermediate 1・2 Core English (RW) - Intermediate 1・2		General Academic English (LS) - Intermediate General Academic English (RW) - Intermediate	
Pre-Intermediate	Core English (LS) - Pre-Intermediate 1・2 Core English (RW) - Pre-Intermediate 1・2		General Academic English (LS) - Pre-Intermediate General Academic English (RW) - Pre-Intermediate	
Basic	Basic English (LS) 1・2 Basic English (RW) 1・2		(※2)	

(※1) 「レベル: High Intermediate」は、2年次に上級科目の「English for Professional Purposes 1・2」を履修します。

(※2) 「レベル: Basic」は、2年次に「レベル: Pre-Intermediate」の1年次科目から希望の科目を選択して履修します。

## 科目概要

### 基幹科目

#### Intensive Advanced English 1・2

高度な批判的思考力を伴う、英語コミュニケーション能力・文章読解力・文章記述力を兼ね備えた学習者の育成を目的とした科目で、学生個々の興味・関心をもとに個人またはグループでリサーチに取り組み、その成果を発表する機会を含んだ実践・発信型の授業を行います。

#### Core English (LS)- Intermediate 1・2, Core English (RW)- Intermediate 1・2

#### Core English (LS)- Pre-Intermediate 1・2, Core English (RW)- Pre-Intermediate 1・2

将来を見越した英語学習の基盤づくり(キーコンピテンシー能力の構築)を目指し、英語学習の楽しさや達成感といった学びの質を優先させつつ、批判的思考力を伴うコミュニケーション能力、文章読解力・文章記述力の養成を目的とした科目です。LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスし、Intermediate、Pre-Intermediateのレベルに合わせた授業を行います。

#### Basic English (LS) 1・2, Basic English (RW) 1・2

英語学習の楽しさや達成感を再確認しつつ、基礎的な英語コミュニケーション能力、文章読解力・文章記述力の養成を目的とした科目であり、LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスした授業を行います。

#### General Academic English (LS)- Intermediate, General Academic English (RW)- Intermediate

#### General Academic English (LS)- Pre-Intermediate, General Academic English (RW)- Pre-Intermediate

分野(文系、理系)を横断して共通に求められる英語力と、専門領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的とした科目となります。LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスし、Intermediate、Pre-Intermediateのレベルに合わせた授業を行います。

### 上級科目

#### English for Professional Purposes 1・2

高度な批判的思考力を伴う、国内外を問わず英語を職業として使う領域で求められる英語コミュニケーション能力・文章読解力・文章記述力を兼ね備えた学習者・職業人・企業家の育成を目的とした科目となり、リーディング、ライティング、プレゼンテーションにフォーカスした授業を行います。登録資格(CASEC 629点以上)を満たしていれば履修可能です。

#### English for Academic Purposes 1・2・3

高度な批判的思考力を伴うアカデミックな領域で求められる英語コミュニケーション能力(アカデミック・プレゼンテーションやディスカッション)・文章読解力(論文)・文章記述力(論文)を兼ね備えた「自律し、成長し続ける学習者・研究者」の育成を目的とした科目となり、リーディング、ライティング、プレゼンテーションにフォーカスした授業を行います。英語のコミュニケーション能力の向上はもちろんのこと、論文の記述力、読解力に重点を置いた科目となっています。以下の登録資格を満たし選考試験に合格すれば履修可能です。

科目名	記当年次	TOEFL ITP® テスト	TOEFL iBT® テスト、TOEFL iBT® Home Edition テスト	TOEFL® Essentials™ テスト	TOEIC® L&R テスト TOEIC® L&R IP テスト TOEIC® L&R IP テスト(オンライン)	IELTS™	CASEC
English for Academic Purposes 1	2～	480～	55～	6.5～	575～	5～	629～
English for Academic Purposes 2	2～	520～	68～	7.5～	650～	5.5～	680～
English for Academic Purposes 3	3～	565～	82～	8.5～	730～	6～	740～

※TOEIC® L&R テストの「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

### 留学準備科目

#### Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2, Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2

TOEFL® テストやIELTS™といった留学に必要なテストのスコアアップとともに、留学先での学習シミュレーションを通して、4技能の英語力の向上を目指した科目となっています。登録資格(→8ページ参照)を満たしていれば履修可能です。

### 海外留学プログラム

#### サマープログラム、スプリングプログラム

夏期、春期休暇中に海外における短期集中の語学研修に参加し、高度な外国語運用能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とした科目となります。

#### セメスタープログラム

1セメスターにわたり、海外の研修校で集中的に英語研修を受けることによって、英語の運用能力を総合的に高めるとともに、現地での生活体験を通して、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とした科目となります。

# 1年次科目 登録方法

この項では1年次で履修可能な全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語科目の登録方法について紹介します。なお、学部により卒業単位・外国語単位への算入について取扱いが異なるため、詳細は各学部『履修要項』・『登録要領』で必ず確認してください。

## 基幹科目

### Intensive Advanced English 1・2

### Core English (LS)- Intermediate 1・2

### Core English (LS)- Pre-Intermediate 1・2

### Basic English (LS) 1・2

### Core English (RW)- Intermediate 1・2

### Core English (RW)- Pre-Intermediate 1・2

### Basic English (RW) 1・2

対象者: 全学部 1年次～

登録方法: 大学がプレースメントテストの結果をもとに、一括登録する。(登録手続不要)

なお、入学前に実施したプレースメントテストを受験できなかった場合は、以下の期間に、自宅等のパソコンでプレースメントテストを受験する。受験方法(アクセスするURL、受験者ID等)は入学前と異なるため、入学後に案内される受験要領を必ず確認の上、受験すること。

受験期間: 4月1日(火)13:00～4月3日(木)10:30(予定)

自宅等にパソコンがない場合は、本学の情報教室のパソコンを利用して受験することも可能だが、学生証、ユーザID通知書が必要となる。本学で利用可能な情報教室は以下のURLから確認すること。

ただし、状況に応じて開室する教室が変更となるため、当日の情報教室の利用状況等は以下のURLから確認すること。

[https://it.doshisha.ac.jp/it/equipment/utility\\_time.html](https://it.doshisha.ac.jp/it/equipment/utility_time.html) ▶

<https://openpc.doshisha.ac.jp/clv/> ▶

※受験期間は休講期間となる。休講期間の情報を確認すること。

## 留学準備科目

### Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2

### Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2

対象者: 全学部 1年次～

### 開講クラス(各クラス25名定員)

#### ▶ 今出川校地開講

学期	科目	クラス	曜講	担当者
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	51	月3・水3	櫃本 一美
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	52	火1・木1	阿部 瞳
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	53	火2・木2	阿部 瞳
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	54	月2・火2	未森 恵子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	55	月3・火3	未森 恵子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	56	火1・木1	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	57	火5・土2	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	58	月5・水5	櫃本 一美
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	71	月3・水3	櫃本 一美
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	72	火1・木1	阿部 瞳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	73	火2・木2	阿部 瞳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	74	月2・火2	未森 恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	75	月3・火3	未森 恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	76	火1・木1	鈴木 朋子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	77	火5・土2	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	51	月4・金5	GEORGIOS GEORGIU
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	52	水4・金4	横殿 伴子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	53	水5・金5	横殿 伴子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	71	月4・金5	GEORGIOS GEORGIU
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	72	水4・金4	横殿 伴子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	73	水5・金5	横殿 伴子

# 同志社英語集中プログラムについて

## 目的

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(→54ページ参照)」を受講し、海外留学を実現できるよう、学問を深めていくために必要な英語力を習得することを目的としています。具体的には、Speaking、Listening、Reading、Writingのスキル向上と英語によるアカデミックスキルの習得を目指します。「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を履修する上で、英語力に自信がない場合は、このプログラムを受講することをおすすめします。



## 正課科目

- English for Professional Purposes1 1単位
- English for Professional Purposes2 1単位
- English for Academic Purposes 1 2単位
- English for Academic Purposes 2 2単位
- Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 2単位
- Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 2単位
- Study Abroad Preparation (IELTS) 1 2単位
- Study Abroad Preparation (IELTS) 2 2単位

## 課外講座

- TOEFL ITP®テスト対策講座 ほか  
本プログラムでは、英語力とアカデミックスキルを向上させるために、効率的な学習方法をアドバイスし、集中的に英語を学習する機会を提供します。  
2025年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。



学期	科目	クラス	曜講	担当者
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	51	金3・土1	北岡 一弘
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	52	金4・土2	北岡 一弘
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	71	金3・土2	北岡 一弘
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	51	月5・金4	GEORGIOS GEORGIU
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	52	月4・水4	櫃本 一美
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	71	月4・水4	櫃本 一美
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	72	月5・金4	GEORGIOS GEORGIU

## ▶ 京田辺校地開講

学期	科目	クラス	曜講	担当者
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	1	火4・土1	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	2	火5・土2	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	3	月2・金4	本間 三恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	4	火4・土1	小林 英雄
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	5	火5・土2	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	1	火2・木5	LUCAS KEVIN
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	2	火2・金4	佐野 直子
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	1	火2・木5	CANDY
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	1	火2・木5	LUCAS KEVIN

## 登録資格

科目名	CASEC
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 Study Abroad Preparation (IELTS) 1	550点以上679点以下
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 Study Abroad Preparation (IELTS) 2	680点以上

## ▶ 登録を希望する場合は

4月3日(木)17:00までに登録を希望する開講校地のクラスについて、学修支援システムDUETで希望申請を行う。  
※登録資格を満たしていれば科目登録可能です。希望者が定員を超えた場合は抽選で登録者を決定します。  
抽選後、定員を満たしていないクラスは追加募集を行います。詳細は各学部『登録要項』で確認してください。

## 海外留学プログラム

### サマープログラムA・B・C

対象者: 全学部 1年次~

登録方法: 登録を希望する人は、募集説明会に参加してください。2025年度募集説明会は、今出川校地は2025年4月10・11日、京田辺校地は4月9日に実施します。日時・場所については以下のURLに公開している募集案内を確認してください。

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/summer.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/summer.html)



### スプリングプログラム 英語A・B・C

対象者: 全学部 1年次~

登録方法: 登録を希望する人は、2025年6月中旬に実施予定の2025年度募集説明会に参加してください。2025年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2025年5月中旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/spring.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/spring.html)



### セメスタープログラム 英語I・II

対象者: 全学部2年次~(選考時は1年次生)

登録方法: 2025年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2025年12月上旬に実施予定の2026年度募集説明会に参加してください。2026年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2025年11月上旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/semester.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/semester.html)



# 2

## 初修外国語科目

Foreign Languages Other than English



ドイツ語 フランス語 中国語 スペイン語 ロシア語 コリア語

同志社大学では、全ての学生が英語に加えてもうひとつの外国語を学びます。この英語以外の外国語のことを大学入学後に初めて修める外国語ということで「初修外国語」と呼び、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語が提供されています。

「外国語」というと皆さんの多くは英語のことを真っ先に思い浮かべることでしょう。しかし、グローバル化が進むこれからの社会では、英語はもちろん、その他の言語の習得も求められるようになってきました。ただし、言語は単なるスキルではありません。新しい外国語を学ぶことは、新しい価値観や文化に触れることにつながるからこそ、大学生が身につけるべき教養として位置づけられているのです。外国語学習は、私たちがこれまで知らず知らずのうちに身につけてきたものの見方が絶対的なものではないことを教えてくれるものでもあります。世界に対する複眼的な視点を獲得するためにも、在学中、英語以外の外国語の学習にも積極的に取り組んでみてください。

### 初修外国語科目学習プログラムの特徴

#### Point 1

初修外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語を提供しており、英語以外の外国語の学習に取り組むカリキュラムになっています。

#### Point 2

レギュラー・コース、インテンシブ・コースを準備しており、インテンシブ・コースはレギュラー・コースに比べ、少人数でコミュニケーション能力に力点を置いた内容になっています。

#### Point 3

レギュラー・コース、インテンシブ・コースに加えて、会話科目や海外留学プログラム、上級科目を提供しており、皆さんの学習意欲に応じて受講できるようになっています。

### 履修の流れ

標準的な 年次配当	1 年次		2 年次		3・4 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
レギュラー・コース	入門Ⅰ (週2回連動・2単位)	入門Ⅱ (週2回連動・2単位)	応用1 (週1回・1単位)	応用3 (週1回・1単位)	言語文化原典演習1・2(各週1回・2単位)	
			応用2 (週1回・1単位)	応用4 (週1回・1単位)	文化事情1・2(各週1回・2単位)	
インテンシブ・コース	インテンシブⅠ (週3回連動・3単位)	インテンシブⅡ (週3回連動・3単位)	インテンシブⅢ (週3回連動・3単位)	インテンシブⅣ (週3回連動・3単位)	表現法1・2(各週1回・2単位)	
					現代地域事情・上級講読1・2(各週1回・2単位)	
会話科目	会話初級1・2(各週1回・1単位)		会話中級1・2(各週1回・1単位)		会話上級1・2(各週1回・1単位)	
海外留学プログラム	サマープログラム		スプリングプログラム(ロシア語を除く)		セメスタープログラム(ドイツ語のみ)	
派遣留学			外国協定大学派遣留学			

※中国語会話初級は2年次以上、同中級は3年次以上、同上級は4年次から履修。

### 学習要項

#### 1・2年次科目

##### ▶ レギュラー・コース

1年次で「入門Ⅰ・Ⅱ」(週2回)、2年次で「応用1・2・3・4」(週1回)を履修します。「入門」は基本的な発音や文法知識、語彙の習得を目的としています。「入門」はグレード制(ローマ数字の若い番号から順番に履修する必要がある)のため「入門Ⅰ」に合格しなければ「入門Ⅱ」へは進めません。「応用」は「入門」で身につけた外国語運用能力をさらに高め、文化理解への関心を広げることを目的としています。

##### ▶ インテンシブ・コース

1年次で「インテンシブⅠ・Ⅱ」(週3回)、2年次で「インテンシブⅢ・Ⅳ」(週3回)を履修します。レギュラー・コースより少人数で、コミュニケーション能力に力点を置いた内容となります。週3回授業がありますので、初修外国語の学習に力を注ぎたいと考えている場合は、ぜひトライしてみてください。「インテンシブ」はグレード制のため、「インテンシブⅠ」に合格しなければ「インテンシブⅡ」へは進めません。

※1年次で「レギュラー・コース」に登録していた学生でも、2年次に「インテンシブ・コース」に移ることは可能です。また、逆に1年次に「インテンシブ・コース」に登録し、2年次から「レギュラー・コース」に移ることも可能です。

#### 海外留学プログラム

夏期・春期休暇中は、海外の大学で勉強する「サマープログラム」、「スプリングプログラム」に参加できます。「サマープログラム」は2年次以上、「スプリングプログラム」は1年次生から参加可能です。【詳細はP.21】さらに、2019年度から同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで「セメスタープログラム」(ドイツ語のみ)も開講され、1セメスターにわたって研修地に滞在し、現地での語学研修を受けます。また、「セメスタープログラム」は同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで開講する特色を生かし、全学共通教養教育科目である「Intercultural Studies」EUキャンパス特別講義をセットで登録し、ドイツ・ヨーロッパでの学びを深化させる科目構成になっています。

※「サマープログラム・ロシア語」は隔年開講です。 ※「スプリングプログラム」は、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・コリア語で開講されています。 ※「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」「Intercultural Studies」EUキャンパス特別講義の総称を「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」としています。詳細は、37ページを確認してください。

#### 3・4年次科目

4年間を通してスキルアップを図れるよう上級科目が用意されています。「留学の準備をしたい」「専門文献が読めるようになりたい」「留学から戻って来て外国語の力を維持、向上させたい」など、それぞれの関心や課題に照らして科目の履修を検討してみてください。

##### ▶ 「インテンシブⅤ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ」

実践的なコミュニケーション能力を中心に総合的な外国語運用能力のブラッシュアップを図るとともに、文化的理解のさらなる向上を目指します。 ※インテンシブの開講状況は各言語によって異なります。フランス語・中国語は「インテンシブⅠ～Ⅷ」、ドイツ語・スペイン語・コリア語は「インテンシブⅠ～Ⅵ」、ロシア語は「インテンシブⅠ～Ⅳ」を開講しています。

##### ▶ 「言語文化原典演習1・2」

外国語の読解力向上を目的とし、各言語の文献を読み、内容の理解を通じて背景にある文化的事象への認識を深められるようにします。

##### ▶ 「現代地域事情・上級講読1・2」

現代性・地域性に重点を置いた教材を用いて、現代社会における当該文化圏の特徴をさらに深く理解できるようにします。

##### ▶ 「文化事情1・2」

視聴覚教材などを用いてインプット能力を向上させることを目的とし、各言語の視聴覚エンターテインメント、マスメディアなどに触れ、当該文化圏に関する多くの知識を習得できるようにします。

##### ▶ 「表現法1・2」

各言語の小論文やエッセイの執筆、ディベートなどを取り込み、書く・話すといった発信能力の向上を目的とし、様々な課題に取り組みながら自文化および異文化に対する理解や認識を深められるようにします。

#### 初修外国語会話科目

初級から上級までの「会話」クラスが用意されています。レギュラー・コース、インテンシブ・コースの授業だけでは物足りない場合や会話能力をより向上させたい場合は、自分のレベルに合う授業を選んで履修してください。

p.12 から紹介する各外国語の先生からのメッセージも参考に、自分に合う外国語を選んで学習してください。

# ドイツ語 German



REGINE DIETH 准教授

Sie kennen bestimmt schon einige deutsche Wörter.

Im Japanischen gibt es viele deutsche Lehnwörter, wie z. B. Röntgen, Gelände, Arbeit, Gummi oder Baumkuchen. In der Meiji-Zeit wurden nämlich zahlreiche Begriffe aus Deutschland nach Japan eingeführt. Interessieren Sie sich dafür? Dann sollten wir zusammen Deutsch lernen!

こんにちは!

皆さんはドイツ語の単語をいくつか知っていますか? 実は日本語にはレントゲン、ゲレンデ、アルバイト、グミ、パウムクーヘンなどドイツ語からの借用語がかなりあります。なぜなら、日本は明治時代に多くの概念をドイツから導入したからです。興味を持ちましたか? それではドイツ語と一緒に学んでみませんか?

ドイツ語は、英語と同じインド・ヨーロッパ語族の中のゲルマン語系の言語です。現在、ドイツ、スイス、オーストリア、ルクセンブルク、ベルギーの公用語で、EU域内ではフランス語と並んでよく使われています。ドイツ語は、ヨーロッパの歴史・文化・社会・経済・政治について知るうえで、きわめて重要な言語です。

本学ではレギュラー・コースの他にインテンシヴ・コース、会話・表現に特化した授業に加え、ドイツ語圏の地域事情について講読する授業が開講されています。春や夏にはドイツで行われる海外研修プログラム

も用意されています。2019年度からは同志社大学テュービンゲンEUキャンパスでのセメスタープログラムも開設されました。また12月初旬には「ドイツ語検定試験A1/A2」という世界で通用するゲーテ・ドイツ語検定試験も本学で実施しています。

サッカー、音楽、ビールに尽きない日独間の文化・学術交流には長い歴史があります。私たちの日常生活に浸透している「ドイツ」を発見する旅と一緒に出てみませんか?

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### ドイツ語入門I (週2回、2単位) 【45名授業】

ドイツ語を「読み、書き、聞き、話す」ための技能を、無理なく自然に身につけるための授業です。入門I(第1セメスター)では、ドイツ語の文字と発音、ドイツ語の骨格をなす動詞の変化と名詞・代名詞・冠詞類等の変化、現在時称などを学びながら、少しずつドイツ語で表現することを学習します。

#### ドイツ語入門II (週2回、2単位) 【45名授業】

入門II(第2セメスター)では、入門Iに続き、さらに多様な文法事項を学びつつ、もう少し立ち上がった表現や場面に対応できるドイツ語の学習に進みます。「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づく検定試験「ドイツ語検定試験A1」に合格するレベルに達することを目標とします。

### ▶ インテンシヴ・コース

#### ドイツ語インテンシヴI (週3回、3単位) 【30名授業】

日本語ネイティブ教員とドイツ語ネイティブ教員による週3回の授業です。文法事項の進度は入門I、IIに準じていますが、週3回のクラスなので、口頭練習や聞き取り練習により大きな重点を置くことで、入門I、IIと差異化されます。ドイツ語の学習意欲がはっきりしている学生向けのクラスです。

#### ドイツ語インテンシヴII (週3回、3単位) 【30名授業】

インテンシヴIと同様に、日本語ネイティブ教員とドイツ語ネイティブ教員とによる週3回の授業です。過去形や現在完了形を使った過去の出来事、命令形や依頼の表現等、様々な文法事項を学びながら、いっそう立ち上がった表現や場面にも対応できるドイツ語の学習に進みます。「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づく「ドイツ語検定試験A1」に良い成績で合格するレベルに到達することを目標とします。

# フランス語 French



GHISLAIN MOUTON 助教

Regardons la carte du monde. Le Japon est un « archipel », Quelle est la forme de la France métropolitaine ? En français, on l'appelle « l'Hexagone ». N'oublions pas le fait qu'il existe des pays francophones dans le monde entier.

こんにちは!

世界地図を見ましょう。日本は「列島」です。フランスはどんな形ですか? フランス語でフランスは「六角形(Hexagone)」と呼ばれます。同じように、フランス語圏が世界中に存在するという事実についても考えてみましょう。

言語を学ぶのは、コミュニケーション・ツールを身につけるためだけでなく、自分たちとは異なる価値観や異なる人間の生き方を理解するためでもあります。これらは21世紀のグローバル化された世界で生きるために必要です。

フランスは歴史的に多くの優れた文学者や思想家・哲学者、科学者を生み出しました。フランス語を学ぶことは、皆さんに自分たちとは異なるものに触れ、様々なことを考えるきっかけをもたらしてくれるでしょう。

入門I・IIやインテンシヴI・IIで初歩を学び、応用1~4やインテンシ

ヴIII・IVに進みましょう。コミュニケーション能力を磨くには会話クラス、さらに高度なフランス語を学ぶには上級講読やインテンシヴV・VI、インテンシヴVII・VIII、表現法、言語文化原典演習などがあります。最終的な到達レベルは、実用フランス語技能検定試験(仏検)2級~準1級もしくは「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づくフランス語学力資格試験DELFのB1~B2です。

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### フランス語入門I (週2回、2単位) 【45名授業】

フランス語の表現の仕組みと発音の基本を理解し、名詞・形容詞の性・数や基本的なタイプの動詞の現在形を正しく用いて簡単なフランス語の文を組み立てたり、話したりできるようになることを目指します。到達目標は仏検5級程度です。

#### フランス語入門II (週2回、2単位) 【45名授業】

動詞の過去時制、いろいろな代名詞(直接・間接目的語代名詞、中性代名詞、関係代名詞、疑問代名詞など)、様々な構文を学習し、より複雑な文を理解できるようになることを目指します。到達目標は仏検4級程度です。

### ▶ インテンシヴ・コース

#### フランス語インテンシヴI (週3回、3単位) 【30名授業】

挨拶、人物紹介、買い物、道案内等の表現ができるようになることを目標に、系統的な語彙習得と文法(名詞・形容詞の性・数、重要な動詞の習得など、おおむね入門Iの文法と同じ)の授業が組まれています。コミュニケーション能力を身につけることに重点を置きます。到達目標は仏検5級程度です。

#### フランス語インテンシヴII (週3回、3単位) 【30名授業】

日常生活や仕事について表現できることを目標に、系統的な語彙習得と文法(「入門II」の「文法」の範囲に対応する内容)の授業が組まれています。担当教員同士で連絡を取り合い、聞き取る、話す、読む、書く、総合的な力がつくような授業を行います。到達目標は仏検4級もしくはDELF A1です。

# 中国語 Chinese



大家好!

汉语作为世界上使用人数最多的语言,也是联合国六种工作语言之一。近年来,随着中国经济的发展,世界各地都开始了学习汉语的“汉语热”。

大家刚开始学习汉语的时候,会觉得汉语的发音很难,但是不用担心,只要努力练习就一定能够掌握。初级阶段的汉语语法,有很多和英语语法相似的地方,也有和日语相似的地方,还是不难学习的。学好汉语,了解不同的文化,开阔视野,结交更多的朋友。让我们一起加油吧!

皆さんこんにちは!

中国語は世界で最も話し手の多い言語であり、国連の6種の公用語の一つでもあります。近年は中国の経済的發展に伴い、世界各地で中国語の学習の「中国語熱」が高まっています。

中国語を学び始めると、発音が難しいと思うのですが、心配はいりません。頑張って練習すれば必ずマスターできます。初級レベルの中国語の文法も、英語や日本語の文法と似ているところがたくさんあり、学習は難しくありません。中国語を学べば、異なる文化を理解し、視野を広げ、多くの友人をつくることのできるため、一緒に頑張って学んでいきましょう!

阿部 範之 教授

中国語(漢語=漢民族の言語)は世界で最も話し手の多い言語の一つといわれ、国連の公用語の一つでもあります。

中国語の発音は日本語とも英語とも全く異なるという特徴があり、入門IやインテシヴIクラスで学ぶ初習者は、まず中国語発音のローマ字表記法・「拼音(ピンイン)」から学習を始めます。カタカナ発音では通用しないので覚悟してください。しかし書き言葉で漢字を用いるという特徴は、日本語話者にとっては有利な面です。ただ、中国では伝統的

な漢字の字体を簡略化した「簡体字」が用いられており、私たちが使っている漢字とは形が違うものもあるので、注意しましょう。

学習経験がなくても、「我是学生。」(私は学生です。)と文章の意味が理解できるのは、世界でも日本語話者くらいでしょう。「加油!」(頑張れ!)

# スペイン語 Spanish



¡Hola!

Bienvenidos al mundo hispano. El español es la lengua de España y muchos países de Latinoamérica. ¿Conoces el Machu Picchu y la Sagrada Familia? ¿Los tacos y la paella? ¿La salsa y el flamenco? El español es la puerta de entrada a una cultura única. ¿Por qué no aprendes español? ¡Nos vemos en la clase!

こんにちは! スペイン語の世界へようこそ。スペイン語は、スペインやラテンアメリカの多くの国々の言語です。マチュ・ピチュやサグラダ・ファミリアを知っていますか? タコスやパエリアは? そして、サルサやフラメンコはどうでしょうか? スペイン語は、ユニークな文化への扉です。そんなスペイン語を学んでみてはどうでしょうか? では、授業でお会いしましょう!

PEREZ RIOBO ANDRES 准教授

スペイン語は、スペインと中南米地域を中心として、現在20を超える国家と地域の公用語として4億人以上の人びとに用いられており、英語に匹敵する汎用性を備えていると言っても過言ではありません。今後、スペイン語の話者数や需要はますます伸びていくと予想されています。

スペイン語は、日本人にとって発音面では相性がよく、すぐに馴染むことができます。入門IやインテシヴIではabcから学習が始めますが、努力次第でスペイン語がどんどん聞き取れるようになるはず。

その反面、英語と比べると、文法が複雑で覚えるのが大変だと感じられるかもしれません。しかし、それはスペイン語が持つ魅力の一つでもあります。

スペイン語を学習すれば、スペインだけでなく、中南米や米国のヒスパニック・コミュニティへと世界が広がります。新しい扉を開き、自分の世界を広げる第一歩として、ぜひスペイン語にチャレンジしてみてください。

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### 中国語入門I(週2回、2単位)【45名授業】

中国語の発音をピンインと呼ばれる発音表記法によって身につけます。その後、挨拶や自己紹介などの簡単な日常会話、さらに初歩的文法を身につけることを目標とします。

#### 中国語入門II(週2回、2単位)【45名授業】

入門Iで学んだ内容を定着させながら、中国語の発音をより確実なものにすると同時に、基礎的表現と文法の習得を目標とします。

### ▶ インテシヴ・コース

#### 中国語インテシヴI(週3回、3単位)【30名授業】

中国語の発音をピンインと呼ばれる発音表記法によって身につけます。その後、挨拶や自己紹介などの簡単な日常会話、さらに初歩的文法を身につけ、中国語コミュニケーション能力の基礎を養うことを目標とします。

#### 中国語インテシヴII(週3回、3単位)【30名授業】

インテシヴIや入門Iで中国語の発音や基礎的表現と文法を学んだ学生が、さらに語彙や文法を習得し、その後の学習の基礎となる力を身につけることを目標とします。

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### スペイン語入門I(週2回、2単位)【45名授業】

スペイン語のアルファベットと発音から学習を始め、動詞現在形の規則・不規則活用や基礎的な文法事項(名詞、形容詞、指示詞、所有詞、疑問詞、目的格人称代名詞等)を身につけ、平易なスペイン語を理解し、挨拶、自己紹介などの簡単な表現ができるようになることを目標とします。

#### スペイン語入門II(週2回、2単位)【45名授業】

入門Iで学習した内容を基礎とした上で、動詞の様々な時制の活用とその用法、再帰動詞、関係詞、比較、さらに命令等の文法事項を学習し、より幅広いスペイン語の表現を理解し、また自らも表現できるようになることを目標とします。

### ▶ インテシヴ・コース

#### スペイン語インテシヴI(週3回、3単位)【30名授業】

スペイン語のアルファベットと発音から学習を始め、動詞現在形の規則・不規則活用や基礎的な文法事項(名詞、形容詞、指示詞、所有詞、疑問詞、目的格人称代名詞等)の習得を目標とします。日本人とネイティブの教員がペアを組み、発音、会話等、発信面の能力強化も重視します。

#### スペイン語インテシヴII(週3回、3単位)【30名授業】

インテシヴIで学習した内容を基礎とした上で、動詞の様々な時制の活用とその用法、再帰動詞、関係詞、比較、さらに命令等の文法事項を学習し、より幅広いスペイン語の表現が理解できるようになることを目標とします。日本人とネイティブの教員がペアを組み、発音、会話等、発信面の能力強化も重視します。

# ロシア語 Russian



NECHAEVA ANGELINA 助教

Добрый день! Русский язык является одним из ключевых языков в мировой политике и культуре, а изучение русского языка – это дверь в Русский мир. Изучая язык, вы получите представление и понимание о многообразии Русской цивилизации, которая сформировалась в том числе и благодаря русскому языку. Знание основ русского языка станет вашим преимуществом. Изучайте русский язык с нами!

こんにちは！ロシア語は世界の政治や文化のなかの重要な言語の一つであり、ロシア語を学ぶことはロシアの世界への入口になります。ロシア語を学べば、それが形作るロシア的文明の多様性を理解できるようになるでしょう。ロシア語の基礎を身につけることはあなたの力となり、自信につながりますよ。私たちと一緒にロシア語を学びましょう！

ズドラーストヴィチェ(こんにちは)！ロシア語は難しいというイメージを持っていませんか？教科書や辞書、会話集をうまく使えば、短い期間でもある程度ロシア語を使えるようになりますよ。世界では約3億人がロシア語を話していますが、その半分は母語ではなく第二言語としてロシア語を話しているそうです。入門の授業ではまず文字の発音から始めて、少しずつ文法を学びます。ロシア語の響きを初めて聞くと、音楽のようだと感じるかもしれません。ドストエフスキーやトルストイといった有名な作家もロシア語で書きましたし、美しい音楽を作り出したチャイ

コフスキーやラフマニノフもロシア語で話しました。有名なフィギュアスケートの選手の中にもたくさんのロシア語話者がいますね。同志社大学には文学や絵画、音楽、歴史、政治、経済、言語学、スポーツなど、様々な関心を持つロシア語担当教員がいます。ぜひ私たちと一緒にロシア語に触れて、その多様な魅力を感じ取ってください。

# ロシア語 Korean



朴 鍾厚 准教授

K-Culture의 K는 Korea! 도시사대학에서 코리아어를 배우 보지 않으실래요? 주로 한반도(대한민국과 조선민주주의인민공화국)에서 사용하는 언어를 도시사대학에서는 코리아어라고 부르고 있습니다. 오랜 세월 일본 열도와 교류하며 지내 온 한민족의 언어. 이제 K-Culture 확산과 함께 세계 곳곳에서 사용하고 있습니다. 코리아어를 통해 세계로!

こんにちは！K-Cultureの「K」は「Korea!」同志社大学でロシア語を学んでみませんか？主に朝鮮半島(大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国)で話されている言語を、同志社大学の初修外国語科目としては「ロシア語」と呼んでいます。長い間日本列島と交流して来た朝鮮民族の言語、今はK-Cultureの拡散と共に世界で使われています。ロシア語を通じて世界へ。

ロシア語は日本語母語話者にとって、とても学びやすい言語だといわれます。その理由の一つは文法が非常に似ているからです。例えば日本語とほぼ同じ語順や、助詞の使用には親しみやすさを感じるでしょう。もちろん難しさもあります。全く新しい文字を覚えなければならず、日本語でも英語でも使わない発音もあるため、学習者の努力が求められるのも事実です。それでも「入門Ⅰ・Ⅱ」まで終われば、とりあえず辞書を片手にロシア語のコラムや論文を読めるようになります。

また、習ったことを旅行先などで思い切って口に出してみれば、ロシア語でコミュニケーションできる自分に気づくはずですよ。さらに韓流好きの人なら、ドラマやK-POPの理解できる言葉がどんどん増えていくでしょう。私たちロシア語担当教員は、このように魅力あふれるロシア語に意欲的に挑戦する皆さんを待っています。

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### ロシア語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ロシア語で使われているキリル文字の習得、発音に始まり、動詞の3つの時制、名詞・代名詞の6つの格変化、形容詞・持ち主を表すことばの性・数変化等、ロシア語文法の基礎をひと通り学び終えます。半年の学習によって、ロシア語の文章の組み立てを理解し、簡単な挨拶ができるようになることを目標とします。

#### ロシア語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅱでは入門Ⅰとは別の教科書を用い、軟変化や不規則な変化、動詞の命令形、数詞と名詞の結合、形容詞の短語尾・比較級・最上級等、入門Ⅰでは学ばなかった文法事項を学習するとともに、ロシア語を使って話す能力、ロシア語を聞きとる能力、ロシア語を読む能力の育成を目指します。ロシア語で簡単な会話ができるようになるだけでなく、単語帳を与えられれば簡単なロシア語の文章が読めるようになることを目標とします。

### ▶ インテンシヴ・コース

#### ロシア語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

ロシア語を集中的に勉強して身につけたいと希望する学生のための特別クラスです。日本人の教員は文字と発音の勉強から文法の基礎まで、教科書に沿って説明をし、ネイティブの教員はその進度に合わせて、発音練習を行ったり、話したり、聞いたりする訓練を行います。ロシア語の文章の組み立てが理解できるとともに、ロシア語で簡単な挨拶ができるようになることを目標とします。

#### ロシア語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

日本人の教員は、動詞の時制と体、関係代名詞、数詞の表現、比較級、最上級等ロシア語の文献を読むのに必要な文法事項をひと通り教え、ネイティブの教員はロシア語でのコミュニケーション能力の育成を図ります。ロシア語で簡単な会話ができるようになることと、辞書を引けば簡単なロシア語のテキストが読めるようになることを目標とします。

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### ロシア語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ロシア語の文字(ハングル)と発音の学習から始め、日本語の「です・ます」体に相当する丁寧な表現、名詞文、物の有無を表す表現、数の表し方、過去形等の文法事項を体系的に学習します。学習終了後に簡単な日記が書けることを目標とします。

#### ロシア語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅰに引き続き、尊敬、連体形(現在/過去/未来)、否定形といった表現や変則活用などの初級レベルの文法事項を体系的に学習し、辞書を使って、簡単な文を作ったり訳したりできることを目標とします。また、文章語の基本となる한타体(日本語の「である」体または「だ」体に相当)を学習し、初級レベルを完成させます。

### ▶ インテンシヴ・コース

#### ロシア語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

インテンシヴⅠ・Ⅱを通して初級レベルの文法事項・会話・作文を完成させます。文字と発音の練習から学習を始め、日本語の「です・ます」体に相当する丁寧な表現、名詞文、物の有無を表す表現、数の表し方、過去形等の文法事項を体系的に学習します。また、慣用的な言いまわしを用いた挨拶や自己紹介などができ、自分の知っている単語を用いて簡単な文章が書けることを目標とします。

#### ロシア語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

基本的な助詞をはじめ、聞き手に対する丁寧さを含まない表現、連体形の現在・過去・未来、尊敬表現、変則用言等や、可能・不可能・義務・可否等の基本的な慣用句を学び、初級レベルの文法事項を完成させます。また状況・場面に応じた適切な挨拶や紹介・対応、平易な句や文章の正しい音読、辞書を引ながらの内容理解、自分の知っている単語を用いた簡単な作文ができることを目標とします。

# 1年次科目 登録方法

この項では1年次で履修可能な科目の登録方法について説明します。

1年次で履修可能な全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の初修外国語科目は、以下のとおりです。

ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ロシア語各外国語の

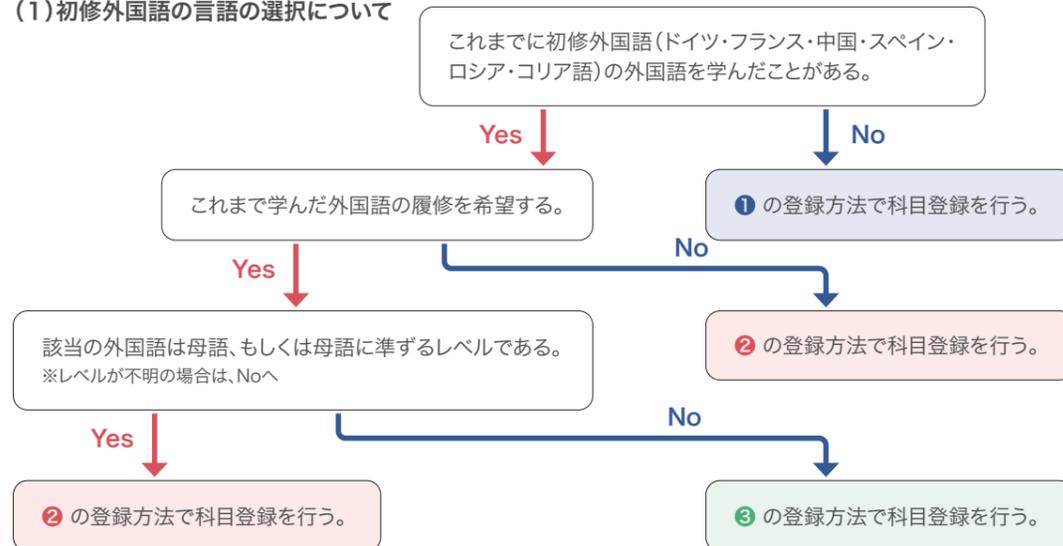
- 入門Ⅰ・Ⅱ、インテンシヴⅠ・Ⅱ
- 会話1・2(中国語を除く)
- サマープログラム
- スプリングプログラム(ロシア語を除く)
- セメスタープログラム(ドイツ語のみ)

※サマープログラム、セメスタープログラム(ドイツ語のみ)は、1年次に選考を受けることで、2年次に履修することができます。

学部により卒業単位・外国語単位への算入について取扱いが異なるため、詳細は各学部『履修要項』『登録要領』で必ず確認してください。

まず、初修外国語の言語の選択、および登録方法について説明します。本学で提供している初修外国語をこれまで学んだことがある場合がありますので、初修外国語の言語の選択は、(1)のフローに従って行き、指定された登録方法で手続きを行ってください。登録方法については(2)を確認してください。ただし、外国人留学生で日本語の登録を希望する場合は、所属学部の履修要項・登録要領、または「日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」で科目の取扱い、および登録方法を確認の上、手続きを行ってください。

## (1) 初修外国語の言語の選択について



## (2) 初修外国語の登録方法について

(1)のフローで指定された登録方法は以下の①～③となります。確認の上、手続きを行ってください。

- ①: 学修支援システムDUETで初修外国語の入門Ⅰ・Ⅱ、またはインテンシヴⅠ・Ⅱの登録申請を行う。
- ②: 学修支援システムDUETでこれまで学んでいない外国語の入門Ⅰ・Ⅱ、またはインテンシヴⅠ・Ⅱの登録申請を行う。
- ③: 初修外国語科目登録認定で該当外国語の教員の面談を受ける。面談は主たる通学校地の初修外国語科目登録認定で受けること。日時、場所は以下のとおり。

4月2日(水) 15:00~16:00 京田辺校地: 恵道館104・106教室 今出川校地: 良心館205教室

4月4日(金) 10:00~11:00、12:30~13:30 京田辺校地: 知真館1号館132教室 今出川校地: 良心館205教室

面談の結果により、これまで学んだ外国語をレベルに合わせて登録するが、母語、もしくは母語に準ずるレベルの場合は、これまで学んでいない外国語の入門Ⅰ・Ⅱ、またはインテンシヴⅠ・Ⅱを登録する。

①、②の場合は次ページにある学修支援システムDUETでの登録方法を確認して、手続きを行ってください。

## 入門Ⅰ・Ⅱ、インテンシヴⅠ・Ⅱ、会話1・2

登録方法: 4月3日(木)17時までに学修支援システムDUETで各自登録する。

### 学修支援システムDUETでの登録方法

大学HP上部の「訪問者別」にマウスポインタ(カーソル)を合わせ、「在学生の方」をクリック。スクロールしてページ下部の「コンテンツガイド」を表示。なお、スマートフォンの場合は右上のメニューボタン(☰)から「在学生の方」を選択。

#### コンテンツガイド

知りたい項目をクリックすると、関連するコンテンツの一覧が表示されます。



#### 学修支援システムDUET マニュアル(動画)



## 1 DUETへログインする

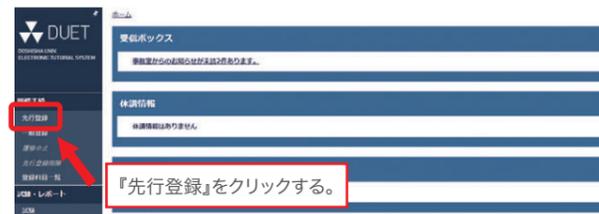
以下の手順でマニュアル(動画)を確認してDUETへログインしてください。

- ① 大学HPを開いて、ページ上部の「訪問者別」にマウスポインタ(カーソル)を合わせ、「在学生の方」をクリックしてください。なお、スマートフォンの場合は右上のメニューボタン(☰)から「在学生の方」を選択。
- ② 「在学生の方」ページを下にスクロールして「コンテンツガイド」へ移動してください。
- ③ 「授業・履修・試験」を選択して「科目登録日程」をクリックしてください。
- ④ 科目登録日程の画面が表示されますので、下にスクロールして「学修支援システムDUETマニュアル(動画)」へ移動してください。『ログイン方法』のサムネイルをクリックするとマニュアル(動画)が表示されますので、確認してDUETへログインしてください。

## 2 履修手续をする

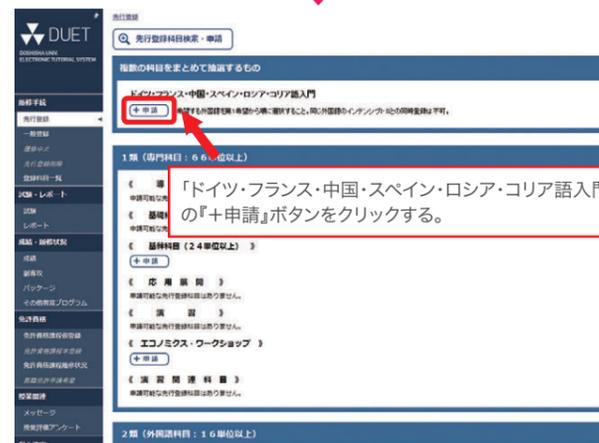
### 1 先行登録科目の画面へ

ログインが完了したら、ご自身のページが開きます。左上の『先行登録』というボタンをクリックしてください。



### 【「入門Ⅰ・Ⅱ」を希望する場合】

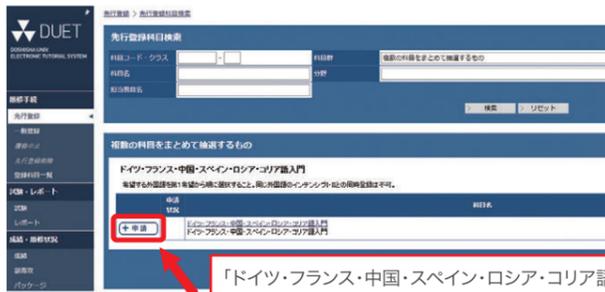
(複数の科目をまとめて抽選するもの)にある「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・ロシア語入門」の『+申請』ボタンをクリックしてください。



### 【「インテンシヴⅠ・Ⅱ」「会話1・2」を希望する場合】

各学部の履修要項で、全学共通教養教育科目の外国語教育科目がどのカテゴリ(1類、2類など)に存在するのか確認し、該当するカテゴリの『+申請』ボタンをクリックしてください。なお、「インテンシヴⅠ・Ⅱ」「会話1・2」は、外国語ごとに分かれていますので、複数言語(ドイツ語とフランス語など)申請すると複数当選する可能性があります。申請する際には注意してください。

インテンシヴⅠ・Ⅱ、会話1・2は履修要項で全学共通教養教育科目外国語教育科目のカテゴリ(1類、2類など)を確認し、該当するカテゴリの『+申請』ボタンをクリックする。



「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の『+申請』ボタンをクリックする。

### 2 履修手続をする(つづき)

#### 【「入門I・II」登録画面へ】

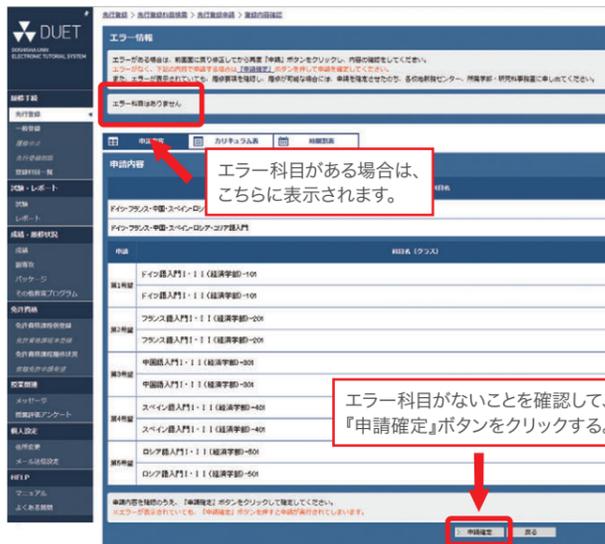
「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の『+申請』ボタンをクリックしてください。



希望する外国語に希望順位を設定して『+申請』ボタンをクリックする。

#### 【「入門I・II」登録希望申請へ】

- 登録希望順位を設定してください。  
例えば、ドイツ語が第1希望、中国語が第2希望、コリア語が第3希望であれば、「ドイツ語入門I・II」の申請欄の下矢印ボタンを押して、「第1希望」を選択してください。同様の手順で、中国語は「第2希望」、コリア語は「第3希望」と設定してください。(申請は必ず第5希望まで申請してください。)
- 登録希望順位の設定を終えたら、画面の左上にある『+申請』ボタンをクリックしてください。



エラー科目がある場合は、こちらに表示されます。

#### 【「入門I・II」登録エラー確認→申請確定】

- エラー科目がないことを確認してください。
- エラー科目がなければ、「申請確定」ボタンをクリックしてください。

#### 重要!

・先行登録希望申請を完了した際には、DUETの「先行登録」の画面を再度開き、自分が行った希望申請が正しく反映されているか、必ず確認してください。  
また、希望申請後、申請内容が大学より交付されたメールアドレス宛 (Microsoft 365) に E-mail で送付されますので、こちらも必ず確認してください。  
ただし、E-mailは希望申請後すぐには届かないことがありますのでご注意ください。

・Microsoft 365は大学HP上部にある「訪問者別」にマウスポインタ(マウスカーソル)を合わせて「在学生の方」をクリックし、ページ下部の「コンテンツガイド」の「システム・情報教育環境」『Microsoft 365』のボタンをクリックしてログインしてください。また、大学より交付されたメールアドレスは、「ユーザID通知書」で確認できます。

#### コンテンツガイド

知りたい項目をクリックすると、関連するコンテンツの一覧が表示されます。

システム・情報教育環境	Webシングルサインオン	Microsoft365
授業・履修・試験	同志社大学ポータル	学修支援システムDUET
学びの進化	シラバスシステム	e-class
免許・資格		



4月4日(金)の結果発表時に『先行登録』をクリックして、決定した外国語とクラス番号を確認。

### 3 決定した外国語科目・クラスを確認する

- 『先行登録』をクリックしてください。
- これまでの申請科目とその抽選結果が確認できます。申請した科目の結果発表は、4月4日(金)0時になります。

## サマープログラム ドイツ語B、フランス語、中国語B、スペイン語、ロシア語、コリア語

対象者: 全学部2年次~(選考時は1年次生)

授業概要: 夏期休暇中に現地での集中的語学研修(3週間~4週間)に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法: 2025年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2025年12月上旬に実施予定の2026年度募集説明会に参加してください。2026年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2025年11月上旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/summer.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/summer.html)



## スプリングプログラム ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語B、コリア語

対象者: 全学部1年次~

授業概要: 春期休暇中に現地での集中的語学研修(2週間~5週間)に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法: 登録を希望する人は、2025年6月中旬に実施予定の2025年度募集説明会に参加してください。2025年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2025年5月中旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/spring.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/spring.html)



## セメスタープログラム ドイツ語I・II

対象者: 全学部2年次~(選考時は1年次生)

授業概要: 春学期の1セメスター(約4か月間)、本学の海外キャンパスである同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで集中的に語学研修に参加し、高度な外国語運用能力を養成するとともに、現地での生活体験を通してその国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法: 2025年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2025年10月上旬に実施予定の2026年度募集説明会に参加してください。2026年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2025年9月上旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/eucampusprogram/eucampusprogram\\_depg.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram_depg.html)



※「セメスタープログラム ドイツ語I・II」は同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで実施する「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の一部の科目となる。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、37ページを確認してください。

# 3

## 海外留学プログラム

Short-term Study-Abroad Programs



サマープログラム、スプリングプログラム、セメスタープログラムは、本学の外国語教育の中にも有機的に位置づけられているものです。自分の学んでいる言語を実生活の中で使い、その背景にある文化や社会に直接触れることはかけがえのない体験です。たとえ短期間のプログラムであっても、その体験がこれからの語学力向上や国際人としての成長のきっかけとなる可能性はとても大きいものです。異文化での体験の種が、やがて大きく花開くようにと、本学では様々なレベルとアプローチからなる外国語教育科目が提供されています。海外留学プログラムに参加する前にも後にも、貴重な体験をより有意義なものにする科目がたくさんありますのでチェックしてみましょう。また、これらのプログラムが実施される現地の大学のほとんどは、協定校になりますので、現地での生活を実際に体験した後に、次は長期派遣留学に挑戦するのも良いでしょう。本学では学生の海外留学を支援するために、奨学金も準備しています。入学後、ぜひ早い段階から語学カウンセリング(→51ページ参照)などを活用し、海外留学プログラムや外国語の学習について各語部の教員に気軽に相談してみてください。より明確で具体的な目標を立てて外国語学習を進めていくことで、大学生活がきわめて充実したものになるだけでなく、将来の豊かなキャリア形成にも確実につながっていきます。ぜひ、チャレンジしてみてください!

### 海外留学プログラムの特徴

#### Point 1

正課科目として、短期(2~5週間)、中期(4か月)のプログラムを提供しており、留学に関する奨学金もあります。また、短期プログラムであるサマープログラム、スプリングプログラムは1年次から受講可能です(初修外国語のサマープログラムは2年次生から受講可能)。

#### Point 2

語学研修だけでなく、異文化体験もプログラムに含まれており、語学力向上と同時に国際人としての成長のきっかけとなります。

#### Point 3

短期、中期プログラムの次のステップとして、大学間協定、学部間協定による派遣留学で専門分野の勉強を行うことが可能となっており、皆さんの学習意欲に応じて受講できるようになっています。

### 海外留学プログラム一覧

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/overview.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/overview.html)



#### ▶ 2024年度 スプリングプログラム

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
英語A	4	ホーソン・メルボルン英語学校 (オーストラリア)	2025年2月14日~3月16日	約25名(最少催行人員:20名)
		ヨーク大学 (イギリス)	2025年2月15日~3月19日	約24名(最少催行人員:10名)
		オタゴ大学 (ニュージーランド)	2025年2月18日~3月23日	約25名(最少催行人員:10名)
英語B	3	オークランド大学 (ニュージーランド)	2025年2月8日~3月9日	約20名(最少催行人員:12名)
英語C	2	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)	2025年2月17日~3月11日	約19名(最少催行人員:10名)
英語D	1	(2024年度開講なし)		
ドイツ語	3	フライブルク大学 (ドイツ)	2025年3月3日~3月30日	約20名(最少催行人員:1名)
フランス語	3	CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修) (フランス)	2025年2月12日~3月16日	約20名(最少催行人員:5名)
中国語	1	華東師範大学 (中国)	2025年2月22日~3月8日	約20名(最少催行人員:1名)
スペイン語	3	サラマンカ大学 (スペイン)	2025年2月20日~3月19日	約20名(最少催行人員:10名)
韓国語	3	慶熙大学 (韓国)	2025年3月4日~3月26日	約20名(最少催行人員:1名)

#### ▶ 2025年度 サマープログラム(英語)

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
英語A	4	ヨーク大学 (イギリス)	2025年8月3日~9月3日	約24名(最少催行人員:12名)
		ディーキン大学 (オーストラリア)	2025年8月9日~9月21日	約20名(最少催行人員:10名)
		ゲルフ大学 (カナダ)	2025年8月3日~8月24日	約30名(最少催行人員:15名)
		トンプソン・リバーズ大学 (カナダ)	2025年8月3日~8月24日	約25名(最少催行人員:11名)
英語B	3	カリフォルニア大学デービス校 (アメリカ)	2025年8月7日~9月7日	約25名(最少催行人員:10名)
		コーク・カレッジ大学 (アイルランド)	2025年8月3日~8月31日	約15名(最少催行人員:1名)
		オークランド大学 (ニュージーランド)	2025年8月9日~9月7日	約30名(最少催行人員:3名)
		カリフォルニア大学サンディエゴ校 (アメリカ)	2025年8月3日~9月1日	約20名(最少催行人員:10名)
		ケンブリッジ大学 (イギリス)	2025年8月9日~8月31日	約34名(最少催行人員:30名)

#### ▶ 2025年度 サマープログラム(初修外国語)

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
ドイツ語A	4	(2025年度開講なし)		
ドイツ語B	3	マルティン・ルター大学 (ドイツ)	2025年8月2日~8月29日	約20名(最少催行人員:1名)
フランス語	4	フランシュ=コンテ大学 (フランス)	2025年8月1日~8月31日	約25名(最少催行人員:5名)
中国語B	3	北京大学 (中国)	2025年8月3日~8月30日	約20名(最少催行人員:6名)
スペイン語	4	ラス・アメリカス大学 (メキシコ)	2025年8月2日~9月1日	約20名(最少催行人員:5名)
ロシア語	4	ロシア国立サント・ペテルブルク経済大学 (ロシア)	(2025年度開講なし)	
韓国語	3	延世大学 (韓国)	2025年8月3日~8月27日	約20名(最少催行人員:7名)

#### ▶ 2025年度 セメスタープログラム

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
英語I・II	I・II各4	ウィニベグ大学 (カナダ)	2025年9月6日~12月21日	約30名(最少催行人員:10名)
		ディーキン大学 (オーストラリア)	2025年8月12日~12月14日	約30名(最少催行人員:10名)
		ハワイ大学 (アメリカ)	2025年8月23日~12月22日	約30名(最少催行人員:7名)
ドイツ語I・II(※)		チュービンゲン大学 (ドイツ)	2025年3月2日~8月8日	約15名(最少催行人員:10名)

※「セメスタープログラム・ドイツ語I、II」は、同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで実施する「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の一部の科目となります。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、37ページを確認してください。

# 英語 スプリングプログラム

English

## スプリングプログラム 英語 A ヨーク大学 [イギリス]

プログラム期間  
2024年2月17日(土)～3月20日(水)

Report of the instructor

このプログラムは、イギリス・ヨーク市にあるヨーク大学での英語集中プログラムです。春休みの4週間を利用して、週5日同志社大学の学生に特化した英語の授業・英国社会・文化についてのプロジェクトが用意されています。現地学生による大学ツアーで主要な場所、図書館、教室を学生目線で案内してもらえるため、キャンパス生活には効率よく馴染むことができるでしょう。滞在はキャンパスの寮で、正規学生とほぼ同様の雰囲気の中でヨーク大学の学生生活を体験できます。また、映画「ハリポッター」に出てくる中世の街並みシャムブルズ訪問、北ヨーロッパ最大のゴシック様式の大聖堂、ヨーク・ミンスター



の見学等、魅力的なフィールドトリップも用意されていて、興味深いイギリスの歴史や文化を学ぶことができます。過年度のプログラム参加者たちは自由時間を利用して、近隣の街へ足を伸ばしたり、英国ならではのアフタヌーンティーやフットボールを楽しんだりしています。ヨーク大学での授業プログラム後は、ロンドンで2泊3日の自由時間もあり、毎年満足度は高く、参加すれば、きっと貴重な異文化の学びが得られることでしょう。



### 体験記

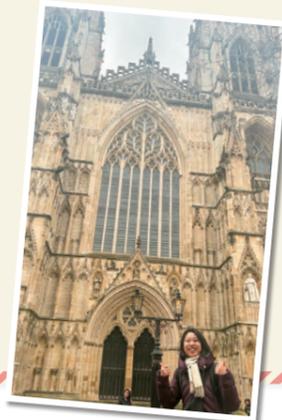
#### "言葉をこえる助け合い"

##### 1. 留学中に苦勞した点・それを乗り越えた方法

日々のバスの乗車、飲食店でのメニューの注文、街歩き中に迷子になったり、日本とは異なる慣れない土地での生活は、日常生活における苦勞が多々ありました。イギリスのバスは、日本のように時間通りに来ることは稀で、バス停で待っていても通り過ぎたり、途中で路線が変わったりします。そのため、常に早めに行動して余裕を持ち、自分が今どこにいるのか把握し、冷静に対処することを意識しました。また飲食店では、メニューを読んでも実際の料理を想像することが難しかったので、インターネットで調べたり、店員さんにどれくらいの量でどんな味なのかを確認しました。町で迷子になった際には、Google mapだけではなく、人に道を尋ねることを繰り返しました。こうした経験を通して、いつも思い切った人に尋ねることが肝心だと思い、実行しました。

##### 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

日常的に英語を使うことへの抵抗がなくなりました。留学前は、間違った英語を話したくない気持ちがあり、英語を話すことのハードルが高い傾向にありました。しかし、留学中、語彙や文法を多少間違えても、相手とコミュニケーションが取れることがわかり、間違えても気にせずたくさん話せば良いと感じました。間違えても、相手は自分の話の続きを推測して理解してくれるだろうと考え、聞き手への信頼度が増し、とにかく話してみるという経験をたくさん積むことができました。そのおかげで、間違えて大丈夫、むしろ間違いから学ぼうとする、楽観的な思考と粘り強さを得ました。



##### 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

1か月間の留学を通して、日本との文化、生活、考え方、働き方の違いを身をもって体験しました。日本が利便性を重視した働き方をしているのに対し、イギリスでは一人ひとりが生活を重視し、ゆったりとした生き方をしていました。一人ひとりがじっくり自分と向き合っ話をしっかり聞き、答えてくれるので、たとえ自分の話す英語が拙くても、困っていて助けてほしいと伝えれば、助けてくれました。そのため、外国人といっても同じ人間で、言語の壁を越えて協力でき、日本以外の海外でも十分暮らしていけると実感しました。そして、将来、海外で働きたいという思いが大きく芽生えました。今後は、海外で働くことを選択肢に置いて就職活動をしたいと思います。

##### 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

もし留学することに迷っているなら、思い切って参加してほしいです。特に海外は初めてという方にお勧めします。ヨークは、イギリスの中でも非常に治安が良く、街並みが綺麗で、人が優しいです。英語が流暢でなくとも、ホストファミリー、大学、一緒に行く仲間が絶対に助けてくれます。長期・短期にかかわらず、一度海外に飛び込み、もっと海外に暮らしたいと思うか、日本の方が良いと感じるかなど、留学中に自分がどう感じ、そこからどうなりたいか、日本以外の経験を通して考えてほしいです。1か月という短い期間ですが、英語のみでの授業、アクティビティ、旅行など新しい発見が日々あります。その機会を大学生活の中で掴むことで、考え方、視野、将来住む場所の選択肢の拡大、まだ未知な新しい自分に出会えます。少しでも留学に行ってみたいと思うならぜひ参加してください。少しの勇気が新しく楽しい経験をたらすと確信します。LET'S GO!

## スプリングプログラム 英語 A ホーソン・メルボルン英語学校 [オーストラリア]

プログラム期間  
2024年2月16日(金)～3月17日(日)

Report of the instructor

このプログラムは、オーストラリア大陸南東部に位置し、オセアニア地域を代表する世界都市のひとつであるメルボルンにあるホーソン・メルボルン英語学校にて3週間にわたって研修を行うものです。この学校はオーストラリアでもトップレベルの水準を誇る英語学校で、教師陣は英語を母語としない人への教授法に定評があります。平日の8:30-13:00に行われる授業では、それぞれのレベルに応じたクラスで、コミュニケーションに重点をおいた実用的で生きた英語を習得します。会話力、リスニング力、理解力を高めつつ、同時にオーストラリアの文化についても学びます。学校は元メルボルン大学教育学部のキャ



ンパスにあり、図書館や体育館などの施設も充実しています。放課後には自主学習センターの利用や学校主催のアクティビティに参加することで世界各国からの受講生たちと交流を深めることができます。また、プログラムの期間中のホストファミリーとの生活によってオーストラリアにおける生活を実体験することができます。



### 体験記

#### "英語漬けの1か月"

##### 1. 留学中に苦勞した点・それを乗り越えた方法

はじめはホストファミリーとコミュニケーションをとることが難しかったり、瞬発的に英語がでてこず、スムーズに会話することが難しかったです。しかし、自分が伝えたいことをあらかじめ調べておく、わからない単語はその場で調べる、あとはとにかくいろいろなことを話すことにしました。すると不思議とスムーズに話せ、ホストファミリーが言っている意味がスッと理解できるようになりました。また、交通機関が複雑なうえ、よく時間や路線の変更があり困ることが多かったです。到着して数日の慣れない頃、電車を間違えて無人駅に来てしまったことがあり、現地の方に帰り方を尋ねて事なきを得ました。特に慣れない頃は、スマホで調べた情報だけでなく、スタッフの方や現地の方に尋ねることを勧めます。

##### 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

日本にいるときは人見知りしてしまうことが多かったのですが、留学中はコミュニケーションがいかに大事かを学ぶことがたくさんありました。コミュニケーションを通じて、スピーキング能力やリスニング力、ポキャブラリーや文法といった英語力の向上はもちろん、ホストファミリーや現地の先生との信頼関係を構築することができたと感じます。また、日本と全く異なる生活様式にはじめは戸惑いましたが、「郷に入れば郷に従え」とポジティブに捉えることで順応できましたし、1か月乗り越えたという達成感が自信につながると感じました。



##### 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

就活に向けて、そして今後の社会人生活に向けて、これからも英語の勉強は怠らないようにしたいと思います。やはり、英語漬けの1か月間はかなり有意義だったと思います。また、慣れない土地で困難を解決し、乗り越えた経験を今後に生かしたいと思います。もともと海外で働いてみたいという願望があったため、この留学をアドバンテージにしたいです。何より、英語のことを好きになれたのは大きかったと思います。英語力向上や英語学習のモチベーションになりました。

##### 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

留学を考えられている方の中に、初めて海外に行く方も多く、不安に思う方も多くと思います。実際、このプログラムに参加された方は海外経験のない方が多いです。ですが、1か月海外に滞在するというのは大学生だからこそ得られる体験です。参加して後悔する…ということはないと私が断言します。参加できるのであれば、勇気を出して一歩踏み出してください。1か月英語で話す・異国の地で生活する経験は、英語力・自立心の向上に大いに役立つ、より皆さんの成長につながると感じます。

スプリングプログラム 英語C カリフォルニア大学アーバイン校 [アメリカ]

プログラム期間  
2024年2月19日(月)~3月12日(火)

Report of the instructor

このプログラムは、アメリカ合衆国西海岸のカリフォルニア大学アーバイン校にて3週間にわたって研修を行うものです。これは同志社大学生専用で作られた特別プログラムで、その授業はアメリカの英語教育の認定協会(CEA)にも認められた高い水準のものです。

授業は平日午前中に実施され、9:00~10:20はSpeaking & Listening、10:30~11:50はReading & Writingに焦点を当てたクラスです。午後は、近隣施設の見学ツアーや現地学生との交流会が数回予定されています。また、合計12時間のConversation Partner Meetingでは、同志社大学生4人に対してUCIの学生1



人という少人数のグループで、会話をしたり、一緒にゲームやスポーツを楽しんだりします。週末には、ハリウッドツアーやディズニーランド、NBAの試合観戦などのオプションツアーに参加できます。研修中の滞在先はホームステイで、ホストファミリーとの日常的な交流のなかで生きた英語を学ぶことができます。

アメリカは多文化・多民族国家であり、カリフォルニア州では特にそれを実感できることでしよう。本プログラムを通して、英語力を鍛えるのみならず、多様な文化や新しい価値観に触れ、これからのグローバル社会で活躍するための足がかりにしていなければ幸いです。



体験記

"「伝える」ことの大切さ"

1. 留学中に苦勞した点・それを乗り越えた方法

留学中に苦勞したことは、コミュニケーションをとり続けることです。最初はあらかじめ語彙も調べておいて、事前に考えていたことをそのままホストファミリーに話していたのですが、それだけでは当然ながら話が通じず、その場の状況に応じた返答が上手にできるはずがありません。そこでまずはしっかり聞き取るということを大切にしました。やはり現地の人が話す速度が非常に早かったので1回では理解できないことが多く、聞き取れなかったことは何回も粘り強く聞いて確実に理解するようにしていました。そうすると次何を話そうか考える余裕ができたことに加えて、新しく出会った単語や新たな発見ができるようになったので、頑張ってたっ良かったと思いました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

この約3週間で一番成長したと思う点は二つあります。まず一つ目は情報を共有する力です。事前に調べておいたことや知っておいた方がよいことを積極的に共有することでメンバーにとっても自分にとっても再確認するという形で安心することができますし、楽しむ気持ちを大切にできる余裕を作ることができ、メンバー全員の絆が深まったと思います。二つ目は挑戦心を持って自分から主体的に動くということです。今まで自分から積極的に動くことは比較的少なかったのですが、見知らぬ土地で右も左もわからない中でわからないことはすぐに現地の人に積極的に聞き、まず行動するという気持ちに切り替えることができました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

本プログラムから多くの刺激をもらったことを活かし、より実践的に英語を使用できるように引き続き学習し続け、就職や進学だけに限らず、英語を含めその他の言語に対しても意欲的に取り組みたいです。そうした経験を通じて新たな知見を得て、多くの人々と他言語でつながり理解し合い、人生を更に豊かにする多角的な視点を得ていきたいと思います。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

今回初めてアメリカの地に足を踏み入れたのですが、これほど新しいことに囲まれて一つ一つの経験に対して丁寧に向き合ってくれたのは初めてで、すごく新鮮でした。11人というちょうど良い人数だったのでまとまって行動しやすく、3週間という短い時間でしたが非常に仲良くなることができ、今ではかけがえのない思い出です。英語を話すということはもちろん大切ですがそれよりも本プログラムでは、「伝える」ということが一番重要だと感じました。何を伝えたいのか、どのように伝えたいのかを考え続けるのは困難だと感じるかもしれませんが、それは同時に言語を使ってコミュニケーションをする醍醐味であるといえます。本当に毎日が冒険で、本プログラムに参加して心の底から良かったなと感じました。本プログラムに参加するか検討している方々に自信を持って参加をお勧めします。

サマープログラム 英語A ディーキン大学 [オーストラリア]

プログラム期間  
2024年8月5日(月)~9月15日(日)

Report of the instructor

本プログラムでは、オーストラリアのビクトリア州メルボルン近郊にあるディーキン大学で夏期集中語学研修を行います。大学付属語学学校として定評のあるDUELI (Deakin University English Language Institute) の教授陣の指導を5週間にわたって受け、英語の実践的運用能力を磨くことを目的としています。

授業はレベルに応じて9コースに振り分けられ、それぞれのクラスにおいて世界各国の留学生とともに学びます。教室内でのスピーキング、ライティング、プレゼンテーション、文法、語彙、発音等の指導に加えて、グループ・プロジェクトでの野外インタビューや施設訪問など、レベルに



応じて様々なアクティビティが用意されています。現地学生とともに図書館やジム他の充実した学内施設も利用できます。

また、ホームステイを通して、オーストラリアの人々との交流や、文化、伝統を学ぶ機会を得ながら、生きた英語を学ぶことを目指します。言語と文化の違いを越えてホストファミリーと積極的に交流してください。さらに、プログラムにはメルボルンシティツアーやフィリップ島ツアー等の野外研修も含まれ、オーストラリアの街並み、歴史、自然を楽しむ機会も豊富にあります。恵まれた環境の中で英語力を高めながら異文化体験を行う、またとない機会となるでしょう。



体験記

"一生忘れられない42日間になりました"

1. 留学中に苦勞した点・それを乗り越えた方法

クラスメイトとの協働作業がとても大変でした。私のクラスは中国やサウジアラビア、カンボジア、ラオス、ベトナムなどといったたくさんの異なる国籍を持つ学生で構成されていて、それぞれが母国語でない英語で一生涯懸命にコミュニケーションをとりながらグループプレゼンテーションやアンケート調査等を行いました。英語以外の言語では当然ながら伝わらないので英語でどうにかして伝えるということに苦勞しました。ですが、自分の知らない文化を持つクラスメイトに積極的に話題を振り、交流をしていくうちに仲が深まって自然と会話量が増え、授業中の議論や活動をスムーズに行えるようになりました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学を機に英語力全般を高めることができました。特にリスニング力は授業に積極的に参加したり毎日友達と外に出掛けて現地の人が話す英語で耳を慣らしたりしたことで格段と伸びました。スピーキング力に関しては、授業中は欠かさず発言をしたり大学内やホームステイ先では日本人同士であっても常に英語で会話をしたりしていました。その結果、他の国籍の学生にも話しかける勇気を持てるようになり、たくさんの友達を作ったことで、より英語での会話力が身につきました。また、私自身あまり社交的な性格ではないのですが、多国籍の友達と交流していくうちに異なる文化や価値観を知る面白さを身に染みて感じ、他者と関係を築くことの大切さも学ぶことができました。



る文化や価値観を知る面白さを身に染みて感じ、他者と関係を築くことの大切さも学ぶことができました。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

語学力だけでなく他の国の文化や宗教についても学びきっかけになり、今度は同志社の授業でそれらをもっと深く知りたいと思うようになりました。また、同志社内でも留学生と交流することができるので様々な活動に参加したり積極的に話しかけたりすることで、自分と異なる背景をもつ人と異文化交流をしたいと強く思っています。また、将来は多国籍の人が働く環境で英語に携わる仕事に就きたいと思っています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は本プログラムの42日間で一生忘れられない思い出と友達を作ることができました。研修先の授業では毎日課題やテストに追われて多忙な日々でしたが、気分転換に友達と外に出掛けて毎日新しい発見ができたり、とても充実した日々でした。放課後には外国人と交流するきっかけになるアクティビティが、そして週末には大学が手配する遠足のようなアクティビティが何度か実施され、42日間毎日濃い生活を送ることができました。英語力にまだまだ自信がない方も自分のレベルに応じたクラスを受講でき、また他の学生や大学関係の方も親切な方ばかりで、いつでもサポートしてくれるため出願時の語学力の心配はいりません。困難なことでも立ちほだかるとは思いますが、それらを乗り越えて迎えた卒業の日には非常に大きな達成感が得られます。ぜひ悔いのない充実した夏休みを体験してみませんか??



サマープログラム 英語B コーク・カレッジ大学 [アイルランド]

プログラム期間  
2023年8月12日(土)~9月11日(月)

Report of the instructor

The UCC Summer Program (English B) took place in the city of Cork, Ireland from August 12 to September 11 in 2023. Because of the Corona restrictions, we had not initialized the program during the summers of 2020 and 2022, and had an online version in the summer of 2021. Then we were very excited to re-start our face to face program during the summer of 2023. The program lasted for four weeks. Our students first took the placement test and they were placed in classes according to their test results.



about the history of Ireland, Irish culture, UCC, and different aspects of studying abroad.

English and learn about and enjoy the city of Cork. Through social activities, parties, and events, students had more opportunity to get to know each other, other cultures, and the Irish culture. There were excursions to touristic and historical places of the region. Students also enjoyed staying with their host families. Through this experience, they could practice English, almost 24 hours a day, enjoy Irish culture in a genuine way, and also make friends from different countries.

City of Cork is the second largest city of Ireland and has a vibrant city life with its unique Irish culture and its famous historical sites. Students have all enjoyed the city as well as various facilities of the UCC during their stay and they were happy to get to know the unique Irish culture. Studying English in the city of Cork, together with modernity and history, and learning about the genuine Irish culture is a great opportunity one can gain in this program.

The summer program also included after-class activities to encourage students to practice their

All classes were in the morning and mainly focused on improving the students' speaking, listening, and vocabulary skills. Students also worked on presentations to improve their communication skills. Number of participating students varies every year and this year we had 13 participants from different faculties. We met during our five preparatory classes before going to Ireland. We generally talked

体験記

" 少しの勇気が大きな自信に "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

ホストファミリーの英語が聞き取れなかったことです。アイルランド独特の発音に苦戦しました。乗り越えられたとは言えませんが、方法としてはわかるまで聞き返すことです。学校の先生はアイルランド出身ではない先生が多く、ホストファミリーと会話を重ねて徐々に慣れていきました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

積極性です。この留学は1か月と短い期間だったので、留学にいく前から「初めから積極的に話す」ことを目標にしていました。授業でも1週目から積極的に発言し、グループワークでたくさん意見を出したりと積極的に英語を使っていました。わからないことがあると授業終わりに先生に聞きにいたり、友達に聞いたり英語を使うことを恐れずにコミュニケーションをたくさんとっていくことで積極性が身につきました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

英語関係の仕事ではありませんが就職先はすでに決まっています。そのためこれから英語を使う機会は減っていきませんが、就職してからも留学で得た積極性や様々なことに対する好奇心を常に忘れないようにしたいと思います。また将来海外で働くことも視野に入れていたので、今回の留学が「海外で働きたい」という諦めかけていた思いを現実的に考えられるきっかけとなりました。この留学で得た英語へのモチベーションを新たな目標達成の糧として持ち続けていきたいです。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

1か月という短い期間ではできることが本当に少ないです。そのため留学前に「自分は何をしたいのか」ということをよく考える必要があると思います。初めは緊張したり不安や恥じらいがありました。しかしそれを克服するには自信をつけるしかないと思い、緊張している中でも授業で一言、二言発言してみました。このことがとても自信につながりました。そこから簡単な単語や短い文章を発していくことで更なる自信につながり、英語を話すことがとても楽しくなりました。難しすぎても簡単すぎても面白くないので授業のレベルも自分のあったところが一番良いと思います。このsummer school が私にとって今まで受けた中で一番楽しかった英語の授業でした。



サマープログラム 英語C ケンブリッジ大学 [イギリス]

プログラム期間  
2024年8月3日(土)~8月25日(日)

Report of the instructor

ケンブリッジ大学はイギリスで2番目に古い名門大学です。本プログラムではケンブリッジ大学中央部にあるセント・キャサリンズ・カレッジに3週間滞在し、英語やイギリス文化を学びます。緑豊かな大学内の眺めは素晴らしく、すぐ近くにケンブリッジの中心街があるので、歴史ある寮で便利かつ安全な環境で留学生活ができます。参加費には、飛行機代・授業料の他、一日三食の食事代(指定カフェテリアで食べる場合)、フィールドトリップ費用やロンドンの演劇鑑賞代などが全て含まれています。

授業はプレシメントテストで4クラスに分かれ、自分のレベルにあった授業を受けることが可



能です。個性豊かな教授陣による、発音や英語表現、異文化理解やビジネスなど様々な観点から工夫を凝らした授業が展開されます。週末にはロンドン観光や周辺地域へのフィールドトリップも用意されています。

本プログラムの最大の特徴は、ケンブリッジ大生から成る数名のTAが寮で一緒に暮らし、手厚いサポートをしてくれることです。TAとは午後のアクティビティの時間を一緒に過ごし、日常的な英語でのコミュニケーションを日々実践することができます。また、定員が多いため、様々な学部、学年の参加者が交流し切磋琢磨できる絶好の機会となっています。ぜひケンブリッジで貴重な夏休みを過ごしてください。

体験記

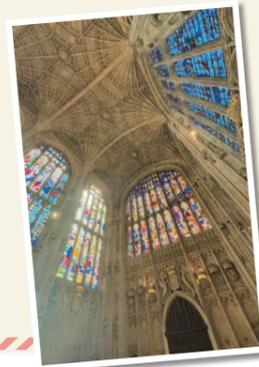
" 消極的な自分を捨て、充実した留学に "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

中高校生の時に短期留学をした経験から、積極性が大事だということを強く感じていたので、今回はその点を特に意識して行動していました。もともと私は自分に自信がない性格ですが、この3週間はこの性格を捨てたことで、後悔なく一日一日を過ごせました。また、「やらずに後悔するよりは、やって後悔する方がよい」というルールを作ったことで消極的になってしまう場面は少なかったように感じています。苦労した出来事に対して、長く落ち込まずに気持ちを切り替えることが重要だと考えています。苦労したことも後で振り返ると思い出になると思います。小さな苦労話ですが、夜23時30分以降にシャワーが冷水になることを知らずに、シャワーを使い、冷水でシャワーを浴びました。ですが、その苦労も今では思い出です。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

イギリスについての知識や理解が深まったことです。日本の学校では、アメリカ英語を学習するので、イギリス英語に触れる機会が今までありませんでした。また、米国、カナダ、オーストラリアなどの英語圏への渡航経験はありましたが、イギリスは初めてでした。ですので、今回の留学では、新たな発見がいっぱいで、毎日ワクワクしながら過ごしていました。今まで訪れた国とイギリスの文化や国民性の違いを自分の中で分析し、イギリスのことをたくさん知り、イギリスの文化を実際に体験したことで、自身の経験値を増やすことができました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

就職先では、英語を使う機会があります。ですので、今回の留学で得た英語学習へのモチベーションを継続したまま入社できればと考えています。また、帰国後、外国人観光客の方と英語で接するアルバイトを始めたので、今回の留学先で学んだこと(例えば、話す時に抑揚をつけることが大切なこと)を活かしていきたいです。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は、「イギリスの文化や生活を体験したい、社会人になったら経験できないことをしたい」という目的で今回の留学に参加しました。このプログラムは私の目的にぴったりだったと思います。ケンブリッジ大学の歴史ある寮で生活できたことは、学生時代にしかできない貴重な経験となりました。また、寮の立地が良く、寮から徒歩圏内に、生活に必要なものから観光まで、全てのものが揃っていることが、非常に良かったです。授業、先生やTAさんとの会話で、語学力の向上が期待できると思います。先生やTAさんとお話しできたことは、間違いなく、この留学での最高の思い出です。このプログラムは、同志生だけのプログラムのため、いろいろな国の方と話したいという目的を持っている方は他のプログラムと比較してみるといいと思います。私は、このプログラムに参加できて良かったとの底から感じています。



セマスタープログラム 英語 I・II ウィニペグ大学 [カナダ]

プログラム期間  
2024年8月31日(土)~12月16日(月)

Report of the instructor

本プログラムは、本学の協定大学でもあるウィニペグ大学の付属語学学校で学ぶ1セマスタの海外英語研修プログラムです。1871年創立のウィニペグ大学は、将来のキャリア開発を念頭にリベラル・アーツ教育を掲げ、少人数のクラスサイズで手厚い指導が特徴的です。また、学部教育にも定評がある中規模大学で、留学生に対する英語教育プログラムは30年以上の歴史を誇り、世界中から様々なバックグラウンドを持った学生が集まります。午前中のプログラムは正規留学を目指すAcademicコースと会話中心のGeneralコースのどちらかを選びます。午後は英語レベルに応じたスキル別の授業を受講します。



カナダは多言語・多文化国家でもあります。移民を多く受け入れ、隣国のアメリカとはまた違った政

策を取っています。ホームステイ先もアジア系等、多様な民族であることが珍しくありません。民族・ジェンダー・環境問題への関心も高く、授業のトピックとしてもよく出てきます。日本にいと見えない人々の多様性や世界の諸課題を肌で感じる毎日になるでしょう。学期の中間休みが1週間ほどあるので、美しい北米各地を訪れることも可能です。



体験記

" 次のステップに挑戦する自信ができました！ "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

言語や文化が異なる環境では、トラブルや認識の食い違いが起きることがよくあります。言葉の壁がある中、こうしたトラブルの対処にはかなり苦戦しました。例えば、飛行機の遅延で、その先の乗り継ぎ便に間に合わなくなったことがありました。そんなときも落ち着いて、伝わりにくいと思ったら表現を変えてコミュニケーションを試みたり、諦めずに交渉を続けることがトラブル解決の鍵だと実感しました。翻訳ツールや生成AIなども言語や文化の違いについての理解を深めるという点で非常に有効だと感じました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

普段と異なる環境に身を置き、拙い英語での会話を強いられる環境では、気分の落ち込みや不安を感じる場面が何度もありました。そんな時は自分の置かれている状況を客観的に分析して解決方法を考えたり、友人やホストファミリーと悩みを共有したりすることで、都度前を向くことができました。困難に直面した時、初めから諦めたり目を逸らしたりするのではなく、正面から解決を試みることができるようになりました。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

今回のカナダでの経験は、英語力を高めたり、海外生活に慣れる意味で、外資系企業への就職や海外の教育機関への進学などの国際的なキャリア形成の第一歩に最適だと感じました。そのため、私は大学卒業までにもう一度、英語圏の大学に留学したいと考えています。今回の留学を通じて、現地の方との日常会話も

できるようになり、語学力の面では心配なく次のステップに挑戦する自信をつけることができました。語学力の他にも日本とは異なる欧米の文化について理解を深めることもできました。こうした経験をもとに再び留学に挑戦することで、より高い語学力と行動力を獲得したいと考えています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

ウィニペグは特に安全面で優れていたり、有名な観光地があったりということはありません。その分カナダの「普通」を身近に感じられる場所であり、等身大の自分で勉強に取り組める場所だと感じました。また、ウィニペグ大学での英語教育は少人数クラスで、発言の機会も豊富にあり、非常に優れたカリキュラムだと感じました。このプログラムへの参加を検討されているみなさんには「迷ったら挑戦してみてください」と言える充実した経験でした。



サマープログラム ドイツ語 B マルティン・ルター大学 [ドイツ]

プログラム期間  
2023年8月12日(土)~9月2日(土)

Report of the instructor

サマープログラム ドイツ語B(マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク)は、ドイツ北東部に位置する歴史的な都市で開講される、3週間の夏期語学研修講座です。講座が開講されるマルティン・ルター大学は、ハレとルターシュタット・ヴィッテンベルクに位置するドイツの中で最も古い大学の一つであり、この地で宗教改革を起したマルティン・ルターやフィリップ・メランヒオンも教鞭をとった由緒ある大学でもあります。授業では、世界各地から集まった学生たちに囲まれながら、実践的なドイツ語を身につけるだけでなく、ドイツの文化、社会、経済とヨーロッパの歴史や現状についても学びます。



平日はマルティン・ルター大学国際サマープログラムの専門スタッフによるコミュニケーションを重視したドイツ語のインテンシブな授業があります。こうした語学プログラムに加え、文化プログラムとして現地の歴史的建築物の見学、ワー

クショップ、スポーツ、ライブツィヒへのエクスカージョン(グループの日帰り旅行)なども企画されています。また週末には、自分で計画を立て、首都ベルリン、ポツダム、ドレスデンなどドイツ東部に位置する諸都市への日帰り旅行もできます。ヴィッテンベルクの近郊や市内にも豊かな自然やドイツ史の重要な舞台となった魅力的な場所が多く、近場でもドイツの文化と社会を満喫することができるでしょう。

参加者はホームステイをしますので、ドイツの家庭での日常を体験できるだけでなく、ホストファミリーと交わされる日常会話は、実践的なドイツ語を学ぶ貴重な機会となります。

体験記

" 留学で培った積極性 "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

留学中に一番苦労した点は意思疎通が思うようにできないという点です。特に何かわからないことを説明してくれた時に自分が知らないドイツ語がたくさん出てきて、たとえあまり理解できなくても、何度も聞き直すのは申し訳ないと思いそのままにすることが留学に行ってはじめてのころはよくありました。しかし、途中からは自分が完全に理解できていないことはそのままにせず、何度でも積極的に聞き直すことでそのようなことは解消されていきました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学では自分の思っていることを伝えるということに対して、積極性を身につけることができたと思います。留学前は何事に対しても積極的であるということはありませんでした。しかし、自分の意見や疑問を伝えるために、自分から話したり、動いたりしなければいけない環境に置かれたことで、多少の積極性を身につけることができました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

今回の留学で様々な文化、慣習を持つ人々と関わることができたという体験は自分の人生に大いに役立つと思います。特に就職してからは大学以上に新たな人と関わり、対話をしなければいけないことが多くなると考えられるので、その時に今回の留学で言葉も文化も違う人々と関わり、対話をしたという経験は大いに役立つと思います。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

本プログラムはホームステイということもあり、日本ではなかなか知ることができない、生きたドイツ文化を学ぶことができます。私は今回のプログラムで、自分が思い描いていたドイツの文化と実際に体験したドイツの文化が大きく異なるということを強く感じさせられました。また、3週間という短期間なので、留学に不安を持ちながらも、留学に興味があるという方にはぴったりなプログラムであると思います。

# フランス語 スプリングプログラム

French

スプリングプログラム フランス語 CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修) [フランス]

プログラム期間 2024年2月21日(水)~3月23日(土)

Report of the instructor

フランスの中央に位置するヴィシーのCAVILAMは1964年にクレルモン・フェラン大学とヴィシー市によって設立され、外国語としてのフランス語教育に関してトップレベルの施設です。年間を通じてフランス語を学ぶ人たちが世界中から集まっています。受講生は学生だけではなく、外国政府の役人、ビジネスマン、研究者と様々です。CAVILAMの先生やスタッフの方は参加学生のフランス語体験が実り多いものとなるためにいつでも相談に乗ってくれます。この街は温泉保養地としても有名で、緑に囲まれた人口約2万5000人の小さな街です。落ち着いて勉強するのに非常に適している環境といえます。



参加者は、最初の月曜日にプレースメントテストを受け、各自のレベルに合ったクラスに配属されます。授業は10名から15名の少人数制で行われます。必修のフランス語講座以外に、午後には自由参加のパラエティーに富んだ課外活動が開催されます。近隣の街へのエクスカージョン、地元チー

ズの紹介、刺繍のクラス、映画の上映会、スポーツなど、毎週変わります。教室に座っているときだけがフランス語、フランス文化の学びではありません。こうした課外活動には積極的に参加してください。

研修期間中の滞在形態は寮またはホームステイのいずれかを選ぶことができます。行く前までは不安のあった学生も、帰国すると皆、一回り成長して戻ってきます。フランス語の語学能力が大きく向上したのももちろんのこと、肌でフランスを感じて過ごした時間が自分の中で大きな自信につながり、さらに前進する原動力になるようです。この体験を足がかりに、いつも多くの学生が本格的により長期の留学を考えるようになるのもそのためです。

## 体験記

### " 素敵な出会いに溢れています! "

#### 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

やはりフランス語です。これまで文法は学んできましたが、いざ会話すると、頭の中で活用を考え、すぐ口に出すことが難しかったです。また発音が難しく、リスニング力のなさを感じました。私は会話力を身につけようと思い、話すことそのものにとっても力を入れました。授業中はもちろん授業の前後で先生やクラスメイトとフランス語で会話をしたり、またホームステイ先では今日どんなことをしたのか、何を食べたかを話しました。放課後は多国籍の友達と遊び、日本語は極力使わない生活にしました。また私は同じステイ先にアメリカ人の留学生がいたため、毎晩時間を決めて、フランス語を話す時間を設けました。向上心を持って、自分の環境でどうしたらよりよい学びができるのか考えて行動し、フランス語を話すことに慣れていきました。

#### 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

語学力においては、実際にフランス人の発音を聞き、会話力を身につけられた点です。また精神面においては、積極性を身につけられたかなと思います。これは様々な国籍の友人たちと授業を受けていく中で学んだことです。間違ってもいい、授業に主体的に参加することこそがよりよい学びにつながり、また先生含め授業を受けるみんなにとってもさらに面白い授業になると感じました。私もこうした友人たちのようにありたいと思いました。また自分の意思をはっきり伝える姿勢が日々身についたと感じます。



#### 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

今回の留学を通してフランス語に対する意欲が高まりました。日本にいる時は馴染みのないフランス語はとても遠い存在のように感じていましたが、現地に行き、ヨーロッパに行き、フランス語はメジャーであること、世界的な言語であることを強く感じました。私は2回生で、応用まで履修が終わってしまいましたが、将来就職してから役立つよう、今回の留学で得たフランス語力を維持できるよう、DELFを受験しようと考えています。また語学力以外にも現地で得たたくさんの経験や学びを今後の人生に大いに活かしていこうと思います。

#### 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私自身、大学の授業でフランス語にとても苦労しました。いつもフランス語だけ成績がいまいちでした。できないからこそ現地に行きフランス語をもっと知りたい、そんな思いで留学を決めました。私はフランスに1か月住むという貴重な経験ができ、本当に本当によかったなと思います。なぜなら英語圏ではない国、ヨーロッパの国だからこそ感じられる全然違う言語や文化だったり、価値観の発見が最高に面白かったからです。視野が大きく広がったなと感じます。フランス人はみんな温かく、とても素敵な国です。大いに行く価値がある場所です。

またフランスで出逢ったいろんな国の友人たちと過ごした時間もかけがえのない大切な思い出です。フランスは素敵な場所、人との出会いに溢れています。

少しでもフランスに興味ある方、何かに挑戦したい方、ぜひ勇気を出して踏み出してみてください!!



# 中国語 サマープログラム

Chinese

サマープログラム 中国語 北京大学 [中国]

プログラム期間 2024年8月4日(日)~9月1日(日)

Report of the instructor

2024年度の中国語サマープログラムは8月4日から9月1日まで、北京大学で実施されました。参加したのは、中国語を1年ほど学習した2年生を中心に、上級生や初学者も含む14名でした。授業は、各自の語学レベルに応じてクラス分けされるので、どのような学生にも対応可能です。学生たちは、日本の他大学の学生や様々な国から集まった留学生とともに学び、協力関係を築きながら語学力を養い、異文化への理解も深めていきます。

語学の授業は平日の午前中、熱意あふれる中国人の先生が担当します。会話中心の授業と文法中心の授業がありますが、実際に使う練習が中心となっており、日常生活で使える会話表現



も学べます。さらに、万里の長城・天壇公園などの史跡の見学や、参加学生たちが演目を披露する留学生交流会など、各種イベントも用意されています。団体での行動なので安心して観光が楽しめます。期間の中ほどには、3日間泊りがけで山西省

の大同へ行き、世界遺産の雲崗石窟など有名な歴史的建造物を見ることができます。

参加学生からは、このような留学生活を通して、現地でお店の人と話したりして日常的な語彙が増えたり、正しい発音を身につけることができた、日本との文化の違いや共通点をたくさん見ることができた、といった報告を受けています。

座学だけでは学びえない多様な収穫があるサマープログラムの経験は、今後の学生生活を豊かにし、新たな学びや将来に対する何らかのヒントを与えてくれるものになるはずで、新たな学生の参加をお待ちしています。

## 体験記

### " 1か月とは思えない成長でした! "

#### 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私が今回の留学で一番苦労した点は言語の壁でした。私は大学1年生の頃から約一年半中国語を勉強していたため、北京での生活はある程度何とかできるだろうと楽観的に考えていました。しかし実際北京で生活してみると、現地の人々の話すスピードは大学の先生が話すスピードの何倍も速いため全く聞き取れず、また頑張って中国語を話してみても声調が間違っていて理解してもらえないことが度々ありました。これらの言語の壁を乗り越えるために、コミュニケーションをする際にはボディランゲージを用いたり、アシスタントの方やお店の店員さんに簡体字の発音を教えてもらったりしました。このような努力もあり、言語の壁を乗り越え、留学を終える頃には一人でも生活できるようになりました。

#### 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私がこの留学で最も成長したと感じた能力は異文化理解力だと思います。中国と日本の生活様式は大きく異なり、ショックを受けることが多々ありました。中でも一番だったことはトイレ事情の違いでした。中国のほとんどのトイレが和式で、洋式は限られた場所にしかなく、また中国のトイレではトイレペーパーが流せないため、日本のように清潔が保たれているトイレはほとんどありませんでした。そのような日常生活における文化の違いは他にもたくさんあり、中国の生活様式に慣れるまでに時間がかかりました。この留学を通して、自分にとって受け入れがたい文化を受け入れ、日本で当たり前であったことが当たり前ではないことを知ることで、今まで自分がかんがえていなかったことが、自分の視野を広げられたことが、一番の成長であったと私は思います。



#### 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

一番身近な将来ですと今回の経験をバイトで活かしたいと思っています。私が働いているカフェには多くの観光客が訪れ、中でも支付宝(Alipay<アリペイ>)や微信(WeChat<ウィーチャット>)を使っている人をよく見かけるため、多くの中国人観光客が訪れているのではないかと思います。私が今まで出会った中国人のお客様は日本語や英語が話せる方々だったので中国語を使うことはありませんでした。しかし、今後ご来店して下さるお客様の中には中国語しか話せない方もいらっしゃるかもしれないので、そのようなお客様ともスムーズに会話できるように、中国での経験を活かして今後も中国語を勉強したいです。また、中国語検定を積極的に受けることで、長期的に自分の中国語力の向上を目指したいです。

#### 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は今回のプログラムに参加し、言語力の向上や中国文化の学習、多様な価値観の獲得など1か月とは思えないほどに成長できました。1か月の留学では旅行と変わらないという意見もあると思いますが、1か月でも過ごし方次第で変わるとは思いますし、1か月だからこそお金やホームシックなどといった負担を感じず、留学に集中できるのではないかと思います。もし留学に悩んでいる方がいらっしゃいましたら、ご家族と相談したうえでぜひ留学を目指されてはどうかと思います。



### スプリングプログラム スペイン語 B サラマンカ大学 [スペイン]

プログラム期間  
2024年2月22日(木)～3月20日(水)

#### Report of the instructor

2024年度のスペイン語のスプリングプログラムは2月22日から3月20日までサラマンカで実施されました。本スプリングプログラムは、留学生向けのスペイン語学習で有名なスペイン最古の大学であるサラマンカ大学で実施されます。3週間にわたり1日4時間の授業を受講します。授業は午前中に行われ、午後はサラマンカ大学の施設を利用して勉強やスポーツをしたり、世界遺産であるサラマンカ旧市街を巡ったりします。サラマンカは大学生が多く、安全な街ですが、タバスやワインを楽しむバルも多く、いつも活気に溢れています。現地のホストファミリーと生活するため、スペインの文化、食事、生活様式を肌で感



じ、初日からスペイン語会話を実践することができます。週末にはサラマンカ大学主催のアピラ、レオン、エスコリアル宮殿など近郊への日帰り遠足や、セビリアとコルドバを訪れるアンダルシアへの3日間の旅行があります。若い時期のこうした異文化体験は、人生観を広げるうえで大きな意味を持ちます。一人でも多くの学生に積極的に来知の世界に飛び込んでいってほしいと願っています。



#### 体験記

### " 耳と口と目で、本気で学んだ1か月 "

#### 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私が留学中に苦労した点は、文法の授業でした。2週目からレベル分けのクラスになり、文法の授業の際、日本で勉強したことがなかった文法や覚えていなかった文法が出てきたので少し苦戦しました。文法の使い方の説明や用法の名前が全てスペイン語で行われるため理解にも時間がかかりました。しかし、予習や復習を行い調べたりすることで授業になんとかついていくことができました。レベルを下げることもできましたが、一つ下げてしまった場合自分には簡単で勉強にならないと思ったため、変えませんでした。結果とても勉強になり良かったです。

#### 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

自分が成長したと思う点はたくさんあります。スペインに行くまでは、自分はスペイン語が全くできずサブリーダーに選ばれた時なんて私なんか?とっていました。しかしスペインでスペイン語を使わなければいけない状況になり、自分のスペイン語が伝わるたびに自分のスペイン語に自信がついていきました。また毎日スペイン語を使うので、日々自分のスペイン語が上達していていることを実感しました。日々勇気を出して行動する経験ができたので、それによって周りの目は気にせず、挑戦することの大切さを学びました。



#### 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

今回の留学で、より世界に目を向けることができるようになりました。留学に行く前は人脈も狭く、毎日同じ人と同じことをする生活でした。以前はその何も変わらない生活が良いと考えていましたが、留学を通して日本人含め様々な人と出会い、もっといろいろなことに挑戦し人脈を広げたいと思うようになりました。この経験を活かし、今後は海外と関わるができるグローバルな職に就き、日本と他の国の架け橋になりたいです。そのためにも語学力を伸ばすために勉強し、残りの学生生活で人脈を広げるために新しいことに挑戦していきたいです。

#### 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

このプログラムに参加して本当に良かったと思います。私は日本で高校からスペイン語を勉強していますが、授業で習った単語や用法を暗記してインプットするだけでは上達のスピードも遅く、楽しくありませんでした。実際にスペインで本場のスペイン語を聞き、自分の考えや思いを表現し、目と耳と口で覚えていき慣れていくことが大切だと思います。私も日本での勉強よりもこの1か月の方が有意義な時間となりました。また語学力の向上だけでなく、スペインの素晴らしい街並みや食べ物、人々、生活スタイルを肌で感じ日本との違いを知ることは面白く、視野も広げることができました。1か月と短い中で自分がどれくらい行動できるかという点も重要で、ただ家に籠もるのではなく、毎日外に出たりホストマザーと話したり、違う街に行くなど勇気を出して行動することで濃く実りある留学になると思います。

### サマープログラム ロシア語 ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学 [ロシア]

プログラム期間  
2018年8月19日(日)～9月10日(月)

#### Report of the instructor

2018年度のサマープログラム・ロシア語は8月19日(日)から9月10日(月)にかけてロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学を研修先として実施された。

初日の午前はマイクロバスによる市内ツアー、午後は簡単なパーティーとオリエンテーションを終えた後、口頭によるクラス分けのための簡単なテストが行われた。7名の参加者は二つのクラスに分けられ、2日以降は10時から13時までの授業(休憩あり)が、土・日曜日を除いて毎日行われた。

同志社大学の学生を何年にもわたって教えていただいているシュルギン先生らによる授業は、アットホームな雰囲気の中で進められた。ロシア語の



早口言葉、キャンパスツアー、簡単なロシア史の講義など盛りだくさんである。

帝政ロシアの首都であったサンクト・ペテルブルクには見るべき建造物や博物館が多いが、大学国際課の職員タチャーナさんの尽力により効率的に多くの場所を回ることもできた。滞在期間の終わりに学生たちは、自主的に町を探索していたようである。関西国際空港使用不能状態への対応で、引率者はかなり時間をとられたが、学生たち自身がしっかりと自己管理をしてくれたおかげで大いに助かったと思っている。

#### 体験記

### " こまめに調べる癖つけで単語量が増えた "

#### 1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

ロシア語は大学でずっと授業を取っていましたが、実際に話したり聞いたりするような力を持ち合わせておらず、自分の語学力の低さには苦労させられました。授業で先生の話していることを理解する、お店で買い物する際の店員とのやりとりなど、初めはただ頭がいっぱいになって言葉を発することもできませんでした。少しでも知っている語彙を増やそうと思い、知らない単語はすぐに辞書で調べてノートにまとめることを毎日続けているうちに、次第に相手の言っていることが少しずつ聞き取れるようになり、単語を並べて自分の言いたいことを伝えられるようになりました。

#### 2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

語学力に関して、街中にある看板や標識に書いてある単語を見るたびに、どういう意味なのか調べる癖がつき、自分の単語量が増えたと思います。また、授業で毎日出される「その日の出来事」を文章で書くうちに自分の言いたいことを文章にして伝える力が少しついたように思います。



#### 3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

今回のサマープログラムに参加し、ロシアの文化や歴史、人々の生活の様子について学ぶことができたのと同時に、自分がいかに日本のことに関して無知であるかがわかりました。今後は日本、主に今自分が通っている京都の歴史や文化について学び、日本の魅力を海外の人に伝えていきたいです。

#### 4. その他(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

ロシアという自分にとって未知の国に行くということに参加するが迷いましたが、今は参加して良かったと思います。実際にロシアの地で生活し、街の風景を見たり、買い物をしたりすることで、もっとロシア語を勉強して話せるようになりたいという意欲が湧きました。自分の語学力を伸ばしたいと考えている人はもちろん、少しでも興味がある人は参加してみることをお勧めします。

# 韓国語 サマープログラム

Korean

## サマープログラム 韓国語 / ハングル 延世大学 [韓国]

プログラム期間  
2023年8月28日(月)～9月19日(火)

### Report of the instructor

本プログラムは、夏休み期間中に、ソウルにある延世大学校韓国語学堂で行われている3週間短期課程に参加して韓国語を学習するものです。語学堂では、日本語がほとんど通用せず、また各国から参加した多様な母語話者の学生でクラスが編成されるため、日本語でのコミュニケーションが可能な日本での学習環境とは大きく異なります。教室外でももちろん韓国語によるコミュニケーションが基本となります。3週間という決して長くはない期間ですが、このような言語環境に身を置く中で、各自の韓国語レベルを大きく伸ばすことができるでしょう。



(9時～13時)、総60時間の授業を履修します。授業が始まる前に、レベル分けテストを通じて、各自の韓国語能力に合ったクラス(1級～8級)に編成され、13人前後のクラスで学びます。正規の授業以外に、週1回程度、韓国文化体験に参加します。韓国料理教室や演劇鑑賞などがあり、積極的に参加することで韓国語のレベルを楽しみながら向上させることができます。

延世大学の語学堂は世界でも最も定評のある韓国語教育機関です。このプログラムに参加し、韓国生活を楽しみながら、ぜひ自分の韓国語の実力を高めてみましょう。

プログラムでは、週5日(月～金)、毎日4時間

### 体験記

## " 帰国後も検定試験に挑戦中 "

### 1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

授業は全て韓国語で行われるので最初はついていけない不安でした。しかし、同じクラスの友達やサマープログラムで一緒に行った仲間がいたので、互いにわからない単語を教えあったり、放課後はカフェに行って勉強をして3週間の授業を楽しく過ごすことができました。また、授業のクラスは自分のレベルに合うように振り当てられるので、自分のわかること・わからないことが明確になり自分の実力を見つめなおせたなと感じました。

### 2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学で語学力は伸びたと感じます。授業が全て韓国語で行われるので、耳が韓国語に慣れていき会話をする時に自然とフレーズが浮かんでくるようになりました。日本で韓国語を学ぶのとは違い、韓国の人が実際に話しているのを聞くことで、会話の言い回しや発音の感じをたくさん吸収できたと思います。地下鉄やご飯屋で近くの韓国人の会話を聞き取れるか挑戦するのも楽しかったです。



### 3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

私は今、観光客が多い地域でアルバイトをしているのですが、韓国人のお客さんがたくさん来ます。その時に韓国語で接客をしたいと思います。3週間韓国にいたことで、接客のフレーズもいくつか覚えたのでぜひ使いたいです。また、せっかく語学研修に行ったので、大学生のうちにいけるところまで韓国語の試験に合格したいと考えています。

### 4. その他(本プログラムへの参加を検討している参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

私はこのサマープログラムに参加してよかったと思っています! 語学力が伸びたのはもちろん、何よりも3週間韓国で生活して楽しかったです。3週間という長い時間を使って、旅行ではなかなか行けないマイナーな所に行ったり、ソウル市郊外に行ってみたりと様々な経験ができました。帰国の日が近づくと、韓国料理が美味すぎる、かわいいカフェがたくさんあること、交通機関の安さなどを感じ帰るのが惜しくもなりました。最初はいろいろ不安なこともあるかもしれないけど、必ず楽しい3週間になると思います!



## ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム

2017年度にドイツのテュービンゲン大学に同志社大学テュービンゲンEUキャンパス(以下「EUキャンパス」という)を開設し、2019年度からEUキャンパスで開講する教育プログラムである、「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」をスタートしました。EUキャンパスの特色を生かした科目構成となっていますので、ぜひこの機会にEUキャンパスで多様な価値観に触れ、幅広い視野を身につけてください。

本プログラムは以下の4科目、14単位で構成しており、全て春学期科目となります。

科目名	クラス	単位数	概要	定員
Semesterプログラム・ドイツ語 I・II	-	各4単位	1 Semester集中型のドイツ語研修。ドイツ語の運用能力を総合的に高めます。授業はドイツ語のみで行われ、4月下旬からは習熟度別のクラスで、テュービンゲン大学への交換留学生とともに学びます。また、ドイツの省庁、研究所などへのフィールドトリップが4回実施されます。	約15名 (最少催行人員10名)
Intercultural Studies	-	2単位	テュービンゲン大学日本学科の学生との必修科目。日本とドイツ、アジアと欧州の共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的とします。	
EUキャンパス特別講義	001 002	2単位 2単位	ドイツおよびヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とし、その深層にある社会の特質を理解するとともに、日本が直面する課題の解決について思考することを目的とします。テーマごとにクラスを展開します。	

※2025年度プログラムの募集は終了しています。2026年度の募集、および科目の詳細については、2025年10月上旬に実施予定の募集説明会に参加し、そちらで配布される募集要項を確認してください。募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2025年9月上旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/study\\_abroad\\_program/eucampusprogram/eucampusprogram\\_depg.html](https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram_depg.html)



### EUキャンパス支援室長 穂山洋子教授からのメッセージ

テュービンゲンは、ドイツ南西部に位置する人口約9万人の美しい大学都市です。中世の趣を今なお色濃く残しつつも、若者や若い家族が多く暮らす活気あふれる街です。その立地からフランスやスイスへのアクセスもよく、ヨーロッパの多文化に触れる絶好の環境が整っています。

この街の中心に位置するテュービンゲン大学は、500年以上の歴史を誇る名門大学で、天文学者ヨハネス・ケプラーや哲学者ゲオルク・ヴィルヘルム・フリードリヒ・ヘーゲルが学んだことでも知られています。現在も、ドイツの最先端の研究を支える「エクセレンス大学」に選ばれており、その学問的地位は揺るぎないものです。

本プログラムでは、ドイツ語の習得をはじめ、テュービンゲン大学日本学科の学生と共に学ぶ必修科目や、ドイツの環境政策や歴史認識をテーマにした科目を受講できます。また、欧州議会や環境先進都市を訪れるフィールドワークも含まれ、単なる語学研修を超えた多角的な学びの機会を提供しています。

さらに、学生一人ひとりにテュービンゲン大学の学生が「パティ」としてサポートする制度も魅力的です。このパティ制度により、学習面だけでなく、現地での生活全般についても充実したサポートを受けられます。

「EUキャンパス」という恵まれた環境で、ドイツ語やドイツ・ヨーロッパの歴史と文化について深く学び、新たな価値観に触れる経験をしてみてください。



# ドイツ語 セメスタープログラム

German

## セメスタープログラム ドイツ語 I・II テュービンゲン大学 [ドイツ]

プログラム期間  
2024年2月29日(木)~8月9日(金)

### Report of the instructor

「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」は、2019年に新設され、爾来、同志社大学とドイツのテュービンゲン大学、両大学の異文化交流の教育プログラムとして、ドイツ語・異文化理解の面で多くの実績を残してきました。長年にわたって研究交流が継続されており、今出川キャンパスには「テュービンゲン大学同志社日本研究センター」が設置されています。2024年度も本プログラムが実施され、集中的にドイツ語研修を受けるとともに、ドイツおよびEU文化、社会などについて学ぶものです。今出川キャンパスで4回のドイツ語集中コースに出席していた学生15名は4か月テュービンゲン大学内



で研修しながら、ドイツの生活を満喫できました。留学の体験は、ゼミや授業からの学びを更に多く「見える化」したものです。多くの驚きや戸惑いがあったと聞いていますが、こうしたドイツから

帰ってきた学生諸君の多彩で積極的な達成感こそが、同志社大学の発展にとって最も重要な基盤となります。本プログラムに参加された学生諸君がこれからもドイツ語の勉強をし続けることを期待しています。最後になりますが、ご協力いただいた、両大学の職員や教員の皆様にご心より御礼申し上げます。

### 体験記

## " 少しの勇気で広がる世界 "

### 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

留学中に苦労した点は、様々な国から来た人々と寮で生活を共にした点です。私にとってこの留学が人生初の海外だったため、自分と文化圏や母語が異なる人と一緒に暮らすことは私にとってかなり体力を使いました。そのため、寮生活が始まったばかりの頃は共用キッチンで物音がするとキッチンに行くことをためらうなど、フラットメイトと出くわすことを避けていました。しかし、このままでは寮がただ寝るための場所になってしまうと思い、キッチンに人がいたら行き、積極的に話しかけるようにしました。すると、フラットメイトと仲良くなることができ、一緒にご飯を作ったりたくさん話すことができました。私のフラットメイトはみんな優しく、まだ言語能力や経験が浅い私を受け入れてくれて私の寮生活はとても楽しいものになりました。自分から行動することの大切さを学びました。

### 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私は今回の留学で、ものごとに積極的に取り組む力がついたと思います。留学前は、何をすることも様々なリスクを考えてしまい、勇気が出ず結局何もしないということが多々ありました。しかし、自分から行動を起こさないと何も始まらない環境に置かれたことで、自分から積極的にイベントに参加したり、とりえず挑戦する、現地の人に話しかけるといった、少しの勇気を出して実際に行動してみるようになりました。すると、自分の想像とは違った出来事や新しい体験をすることができ、やってみて良かったと思える経験をすることができました。



### 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

まだ自分の将来について詳しいことは決まっていますが、この留学は私にとって貴重な経験だったので、この留学で学んだことや自分の譲れない軸について考えながら自分の将来について考えたいと思います。また、留学で学んだことを忘れないようにドイツ語の勉強はこれからも続けて、将来はドイツ語を使う機会を積極的に自分から作っていき、そのような環境に身を置きたいと考えています。

### 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私にとって人生初の海外生活だったため、留学に行く前は不安だらけでした。しかし、このプログラムはサポートも手厚く、困ったことがあったら相談できる人がいることや、現地の人との交流の機会がたくさん設けられていることもあり、ドイツ語を学びながら楽しくテュービンゲンで生活を送ることができました。このプログラムは海外で生活することに不安があるけど留学をしてみたいという人にお勧めです。

## 海外留学プログラム統計(出願者・合格者)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2023年度の一部プログラムでは特別措置としてオンラインで実施しました。

### ▶ スプリングプログラム

科目名	研修先	定員	2024年度		2023年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語A	ホーソン・メルボルン英語学校(オーストラリア)	約25名	64	31	47	30
	ヨーク大学(イギリス)	約24名	44	24	47	24
	セブ医科大学(フィリピン) <sup>(※1)</sup>	約30名	2024年度開講なし		0	1
	オタゴ大学(ニュージーランド) <sup>(※2)</sup>	約25名	44	25	21	25
英語B	セント・メアリーズ大学(カナダ)	約30名	2024年度開講なし		22	25
英語C	オークランド大学(ニュージーランド)	約20名	23	30	12	20
英語D	カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)	約19名	20	22	10	12
ドイツ語	2016年度以降開講なし					
ドイツ語	フライブルク大学(ドイツ)	約20名	5	5	8	8
フランス語	CAVILAM - Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修)(フランス)	約20名	11	10	12	12
中国語	華東師範大学(中国)	約20名	7	7	2023年度開講なし	
スペイン語B	サラマンカ大学(スペイン)	約20名	19	19	17	17
コリア語	慶熙大学(韓国)	約20名	24	24	23	21

(※1) セブ医科大学は2023年度はオンラインで実施しました。  
(※2) オタゴ大学は2023年度以前は英語C(2単位)として実施していました。

### ▶ サマープログラム(英語)

科目名	研修先	定員	2024年度		2023年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語A	ヨーク大学(イギリス)	約24名	36	24	49	24
	ディーキン大学(オーストラリア)	約20名	43	20	29	20
	ゲルフ大学(カナダ)	約25名	24	23	2023年度開講なし	
	セブ医科大学(フィリピン) <sup>(※3)</sup>	約30名	2024年度開講なし		8	6
英語B	トンプソン・リバーズ大学(カナダ)	約25名	16	13	45	35
	カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)	約25名	15	18	13	21
	コーク・カレッジ大学(アイルランド)	約15名	5	5	9	13
	オークランド大学(ニュージーランド)	約20名	10	20		
英語C	カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ) <sup>(※4)</sup>	約20名	2024年度開講なし		2023年度開講なし	
英語C	ケンブリッジ大学(イギリス)	約34名	32	34	2023年度開講なし	

(※3) セブ医科大学は2023年度はオンラインで実施しました。  
(※4) カリフォルニア大学サンディエゴ校は2023年度以前は英語C(2単位)として実施していました。

### ▶ サマープログラム(初修外国語)

科目名	研修先	定員	2024年度		2023年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
ドイツ語A	2019年度以降開講なし					
ドイツ語B	マルティン・ルター大学(ドイツ)	約20名	3	3	5	5
フランス語	フランシュ・コンテ大学(フランス)	約20名	14	14	9	9
中国語B	北京大学(中国)	約20名	14	14	2023年度開講なし	
スペイン語	ラス・アメリカス大学(メキシコ)	約20名	1	1	2023年度開講なし	
ロシア語	ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学(ロシア)	約20名	2024年度開講なし		2023年度開講なし	
コリア語	延世大学(韓国)	約20名	19	17	28	27

### ▶ セメスタープログラム

科目名	研修先	定員	2024年度		2023年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語I、II	ウィニベグ大学(カナダ)	約30名	27	27	28	27
	ディーキン大学(オーストラリア)	約30名	31	30	34	30
	ハワイ大学(アメリカ)	約30名	3	2	6	6
ドイツ語I、II	テュービンゲン大学(ドイツ)	約15名	17	15	14	13

※出願者より合格者が多いプログラムは、第2希望以下を併願し合格した者を含む。  
※「セメスタープログラム・ドイツ語I、II」の出願者、合格者数は「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の統計結果となります。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、37ページを確認してください。

# 4 外国語関連科目

Courses  
Related to  
Language and Culture

本学では、全ての学部学生を対象とした共通の教養教育科目として、全学共通教養教育科目を提供しており、「科目群」と「科目区分」という、科目の狙いや特徴に応じたグループ分けがあります。「科目群」は「同志社科目群」「基礎学術科目群」「グローバル教養科目群」「イノベーション創出科目群」の4つがあり、「科目区分」はそれらに属します。「グローバル教養科目群」は「国際教養科目区分」と「外国語教育科目区分」で構成されています。「国際教養科目区分」には異文化及び日本文化、世界の諸相及び諸課題を理解し、問題解決に必要な知識や理論を身につけるための科目が用意されています。「外国語教育科目区分」では外国語によるコミュニケーション能力を身につけること、外国語学習を通じて異文化理解力を深めることを目的として英語、及びドイツ語、フランス語、中国語、

スペイン語、ロシア語、コリア語の7か国について、4年間の段階的、体系的カリキュラムを提供しています。また、兼修外国語としてイタリア語も提供しています。

こうした科目を履修することでバランスよく国際感覚を身につけることを目標としており、「国際教養科目区分」の中には外国語で授業が行われる科目や、留学生とともに学ぶ科目などが含まれています。また本学では「外国語honors(オナーズ)制度 [P.52参照](#)」の申請資格や「Doshisha“Go Global”Passport [P.53参照](#)」の授与要件としても外国語関連科目の履修を定め、外国語の学習と教養の習得が自然にキャリア形成につながるように配慮しています。国際社会で活躍するための素養を身につけるため、関心ある学生諸君の積極的な受講を勧めます。

## 国際教養科目群一覧表

科目区分	配当年次	科目名	単位数
国際教養科目区分	1～	国際関係学概論	2
		国際文化学概論	2
		日本近現代史	2
		世界近現代史	2
		世界の宗教	2
	2～	ジョイント・セミナー比較文化論	4
	1～	日本とアジア1	2
		日本とアジア2	2
		チュービンゲン大学科目	2
	2～	Intercultural Studies	2
EUキャンパス特別講義		2	
1～	Freshman “Go Global” Program	2	
	グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(→54ページ参照)		
外国語教育科目区分		英語、初修外国語科目	
		海外留学プログラム (サマープログラム、スプリングプログラム、セメスタープログラム)	

## 国際関係学概論と国際文化学概論

政治、経済、そして法律など各領域におけるグローバル化が唱えられて久しくなります。このような時代の流れの中で、「ローカル」と「グローバル」の境界線はますます曖昧で流動的になってきています。しかし、一方で、世界の様々な地域で様々な民族が様々な言語を使って暮らしていることは紛れもない現実であり、「グローバル化」の名のもとに単純には捉え切れない複雑化した歴史的背景と多様な価値観が存在するのです。21世紀を生きる私たちには、こうした多面的な現実に対する、より洗練された視点が必要とされているのではないのでしょうか。

国際教養科目区分の「国際関係学概論」と「国際文化学概論」の二つの講義では、国家の枠組みを越え、世界的あるいは広範囲にわたる規模(グローバル)で考える視点を身につけることを目標としています。

### 国際関係学概論 Introduction to International Studies ～グローバルの視点を学ぶ～

この講義では、主に社会科学領域の学問において言語や文化との関わりを考慮に入れて学びを進めることの重要性を学んでいきます。世界の様々な地域の政治、法律、経済その他の社会の諸相や諸課題を理解し、問題解決に必要な知識や理論を学んでいく際に、対象となる地域の言語や文化を十分踏まえて行うことにより、分析や考察をより深いものとすることができますし、それが本当の意味での「グローバルの視点」を獲得することにもつながります。

### 国際文化学概論 Introduction to Intercultural Studies ～グローバルの視点で学ぶ～

この講義では、主に人文科学領域の学問において言語や文化との関わりを考慮に入れて学びを進めることの重要性を学んでいきます。世界の様々な地域の歴史、文化、芸術の諸相や諸課題を理解し、問題解決に必要な知識や理論を学んでいく際に、対象となる地域の言語や文化を十分踏まえて行うことにより、分析や考察をより深いものとするすることができますし、それが本当の意味での「グローバルの視点」を獲得することにもつながります。

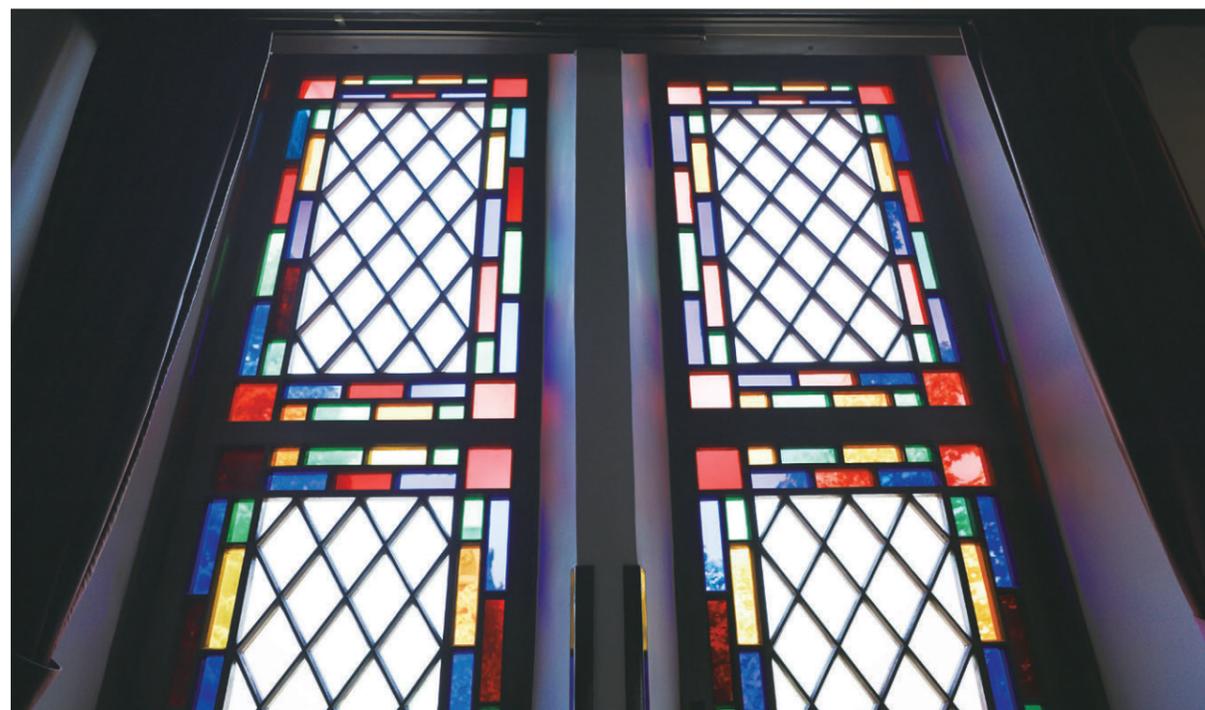
これら二つの講義(概論)で世界の諸相を「グローバルの視点」で俯瞰的に見ることのできる感覚を身につけ、これを足掛かりに「グローバルな視点」に立った学びに展開してもらえたいことを期待します。

## 兼修外国語

英語と6つの初修外国語の他に「兼修外国語」として2年次より「基礎イタリア語I・II・III・IV」を学ぶことができます。それぞれ週1回の授業でイタリア語の基礎を習得します。イタリアの文化や言語に関心のある人はぜひ受講してください。

## グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

国際教養教育院が提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。これらの科目は英語で授業を行い、そのほとんどを25名程度の少人数クラス、言語や文化の異なる学生同士がともに学ぶクラスとして編成します。原則、外国人教員、または海外の大学で学位を取得した教員が担当します。海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに受講すると効果的です。1科目のみでも受講することができますので、科目内容への関心に応じ、チャレンジしてください。(詳細は [P.54参照](#)) また、次項(留学生と学ぶ科目)で紹介するAKP科目、KCJS科目、スタンフォード大学科目は「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」に含まれています。



## 留学生と学ぶ科目

京都で多彩な教育研究を展開する本学へは海外からの留学生も多く、国籍を超えた学びと交流の場があります。

### AKP(Associated Kyoto Program)科目

AKPはアメリカを代表する13のリベラルアーツカレッジ(アーモスト大学、ペイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オベリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学)により構成され、アメリカの大学における日本留学プログラムとしては最も長い歴史を持っています。1972年に本学にAKP同志社留学生センターを設置し、プログラムを開始して以来、日本文化と社会に深く根ざした留学体験の場を提供し続けています。この科目はAKP同志社留学生センターで開講される日本研究などの科目をAKP学生とともに学びます。講義はすべて英語で行われ、AKP学生と同様の課題が課せられます。

### スタンフォード大学科目

スタンフォード日本センターは、日米間の相互理解を深める上で必要となる知識・資質を身につけたアメリカの若い世代の育成を目的として、スタンフォード大学の日本留学プログラムを運営しており、毎年50名のスタンフォード大学の学生がプログラムに参加しています。この科目は、スタンフォード日本センターが本学で実施している、スタンフォード大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をスタンフォード大学の学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられます。

### ジョイント・セミナー比較文化論

この科目はAKP(Associated Kyoto Program)の学生・教員との共同で実施されます。受講生の半数はAKPの留学生となり、本学とAKP双方の担当教員が合同で指導を行います。授業は全て英語で行われ、日本とアメリカの文化や社会についてディスカッションし、フィールドワークを行います。この授業を通じて国際理解を深め、英語の表現力を身につけてください。



### KCJS(Kyoto Consortium for Japanese Studies)科目

KCJSは1989年に京都市内に設立された機関で、1年または1学期間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの14の大学(ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロンビア大学(バーナードカレッジを含む)、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルバニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学セントルイス、イェール大学、バージニア大学、タフツ大学)が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的で文化的な交流を広く進めています。この科目はKCJSが本学で実施している日本留学プログラムの講義をKCJS学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、KCJS学生と同様の課題が課せられます。

### チュービンゲン大学科目

チュービンゲン大学同志社日本研究センター(以下、TCJS)は、ドイツのチュービンゲン大学が研究の日本拠点として本学に設置したセンターであり、毎年チュービンゲン大学から留学生を受け入れ、日本語や日本文化・社会を学ぶための講義を行っています。この科目は、TCJSが本学で実施しているチュービンゲン大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をチュービンゲン大学の学生とともに受講します。講義はすべてドイツ語で行われ、チュービンゲン大学の学生と同様の課題が課せられます。(この科目の受講は、ドイツ留学を控えている、またはドイツ留学から帰国した人が望ましい。)



# 5 外国語能力評価

Self Evaluation  
of Language Ability  
Using CEFR

今の自分の外国語の能力がどこにあるかを、下の表を見て把握してみましょう。  
そうすれば、これから授業や日頃の学習を通して、どこを伸ばしていけばよいのかが見えてくるはずです。

## CEFR※自己評価の目安(簡略版)

		A1	A2	B1	B2	C1	C2
理解する	聞く力	はっきりと、ゆっくりと話してもらえれば、聞きなれた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。	身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。	テレビのニュースや時事問題、標準語の映画ならほとんど理解できる。	特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	母語話者の速いスピードで話されても、どんな種類の話し言葉も難なく理解できる。
	読む力	掲示やポスター、カタログなどの中の名前、単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストや簡単な手紙は理解できる。	日常語や、自分の仕事関連のテキストなら理解できる。簡単な私信を理解できる。	現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。	複雑なテキストを理解できる。自分の関連外の分野での専門の記事も理解できる。	抽象的で複雑なテキストなど、あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。
話す	会話力	必要なことや身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。	短い社交的なやり取りをすることができる。	日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話ができる。	身近な話題の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明できる。	社会上、仕事上の目的に合った言葉使いができ、自分の考えや意見を正確に表現できる。	いかなる会話や議論でも難なく加わることができる。
	表現力	住んでいるところ、また、知っている人たちについて簡単な語句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件を簡単な言葉で説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、目標を語るができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明ができる。	複雑な話題を、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめることができる。	論理的な会話で聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。
書く	書く力	お祝いのメッセージなど、短い簡単な言葉を書くことができる。	簡単に短いメモやメッセージ、短い個人的な手紙なら書くことができる。	身近で個人的に関心のある話題を書くことができる。私信や経験や印象を書くことができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。	手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。	論理的に事情を説明し、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。

※Common European Framework of Reference for Language(ヨーロッパ言語共通参照枠)

# 6 多様なシステム・サポート体制

Learning  
Facilities and  
Support Systems

## “Go Global”ポートフォリオ

### “Go Global”ポートフォリオとは？

“Go Global”ポートフォリオとは将来、グローバルに活躍することを目指す皆さんの大学での学びをサポートするWebシステムです。自身の語学スコアや留学履歴を表示し、留学に関するレポートやアンケートを提出することができます。また、ポートフォリオというデータスペースに自分の学習の成果物をためて、後から振り返ることもできます。

### “Go Global”ポートフォリオでできること

- 語学スコアの登録
- 短期・中期留学(サマー・スプリング・セメスター)プログラムの出願
- 派遣留学の出願
- コミュニティ機能の活用
- 留学、海外での学習歴の登録

など、その他便利機能も満載です。ぜひ活用してください。

### 実際にログインしてみましょう！

#### “Go Global”ポートフォリオログイン方法

ログイン <https://sso.doshisha.ac.jp>

同志社大学HPのWebシングルサインオンサービスにログインし、サービス一覧から“Go Global”ポートフォリオを選択してください。IDとパスワードは、ご自身のシングルサインオンのID、パスワードを入力してください。

### マイページ (トップページ)

ログインをすると最初に表示されるページです。お知らせや更新情報などが表示されています。

#### ①マイポートフォリオ

ポートフォリオ(データベース)が表示されます。参加したコースの履歴が表示されるとともに、自身で設定した目標を記入したシートや提出した授業課題、アンケートなども蓄積されます。

#### ②マイコース

あなたが参加しているコース一覧が表示されます。

#### ③マイコミュニティ

あなたが参加しているコミュニティ一覧が表示されます。「国際課からのお知らせ」では学内で行われる語学講座の情報や留学フェア、外部機関からの情報などを提供しています。

#### ④設定

まずは、リマインダ設定をしましょう。リマインダ設定は、「お知らせ」「コースニュース」「レポート開催告知」「コース・コミュニティの掲示板への新着書き込みのお知らせ」「レポート提出のお知らせ」「自分のポートフォリオのコレクションに付いたコメントのお知らせ」の6点を「受信する」に設定してください。

#### ⑤留学関連情報

体験記等、全学に提供している留学プログラムに関する情報を入手できます。また、各留学プログラムへの出願はここから行います。具体的な出願方法は、各プログラムの要項を確認してください。

#### ⑥プロフィール

あなたのプロフィールが表示されます。語学スコアや留学・海外学習歴もここでできます。



## 語学スコア、留学・海外での学習歴の登録

語学スコアと留学・海外学習歴を登録しましょう。登録は、プロフィール画面より行うことができます。

### 語学スコア、留学・海外学習歴の登録

語学検定試験のスコアが登録できます。プロフィール画面より[新規登録]をクリックし、各項目を入力してください。  
※語学スコアの登録には、スコア証明書の添付が必要です。



## e-Learning

同志社大学では、学生の自律的な学習を支援するため、「スーパー英語」と「Practical English」をオンライン自学自習教材として用意しています。共に、PCだけではなくお手元のスマートフォン、タブレットなどからもアクセスが可能ですので、隙間時間などを活用して計画的に学習してください。

※「スーパー英語」は学部生、大学院生(正規学生のみ)が利用可能ですが、「Practical English」は所定の科目の履修者のみ利用可能となります。

<https://www.doshisha.ac.jp/students/elearning/index.html>



### スーパー英語 (Academic Express 3)

#### ■スーパー英語とは

スーパー英語は単語、文法、リスニング、リーディングの4つのスキルごとに豊富な学習リソースを備えたe-Learningシステムで、TOEIC®テストやTOEFL®テストといった資格試験対策にも最適です。同志社大学の正規学生であれば、登録料・利用料は不要で利用に際して申請は必要ありません。

#### ■学習の流れ

##### ▶ Placement Quiz

学習開始前に10分程度の小テストで4つのスキルを判定。レベルに応じた教材を提案します。

##### ▶ Training Bank

Placement Quizの結果を参考に自分のレベルにあった教材で学習を始めましょう。Vocabulary、Grammar、Listening、Readingの4スキルを鍛えます。

##### ▶ Portfolio機能

ある程度学習が進んだら、Portfolio機能で学習状況を振り返り、苦手分野にも積極的に取り組むようにしましょう。

##### ▶ 週間!英語ドリル

毎週決まった曜日に新しい問題を出題し、学びの習慣をサポートする学習教材サービスです。

##### ▶ Test Bank

TOEFL®/TOEIC®/TOEIC Bridge®テストの模擬テストが配信されます(対象のテストの換算点あり)。本番前の腕試しとしてご利用ください。

#### ■ログイン方法

右のURLへアクセスしてログインしてください。 <https://www.super-eigo.doshisha.ac.jp/student/main/login/>



### Practical English

#### ■Practical Englishとは

初級～上級(TOEIC® L&Rテスト 225～990点)を対象とした、総合的な英語力をバランスよく強化できるe-Learningシステムです。こちらのe-Learningシステムは、以下の科目で利用します。

- ・Core English(LS)-Intermediate1、2
- ・Core English(LS)-Pre-Intermediate1、2
- ・Basic English(LS)1、2

#### ■学習の流れ

##### ▶ 診断テスト

学習開始前に診断テストで各スキル(「Listening」「Reading」「Grammar」)の英語力を測定。アダプティブフォーカスで診断テストを基に、あなたに必要なレッスンを提供します。

##### ▶ スキル別のレッスン

「Listening」「Reading」「Grammar」のレッスンを受講。アダプティブフォーカスでレッスンの習熟度を分析して、最適なレッスンが提供され、総合的な英語力がバランスよく強化されます。

##### ▶ レッスンテスト

各レッスン終了後にレッスンテストがあります。テストが不合格の場合は再度レッスンを受講し、合格を目指してください。

※学習方法の詳細については、授業時に説明がありますので、そちらを必ず確認してください。

#### ■ログイン方法

右のURLへアクセスしてログインしてください。 <https://doshisha.reallyenglish.jp/login>



## 図書館の活用

場所: 今出川図書館(寧静館) / ラーネット記念図書館(京田辺)

### 英文多読学習法 (Extensive Reading)

英語で書かれた平易な文章をできるだけ多く読むことによって、英語表現を自然な形で身につける。英文多読学習法(Extensive Reading)が最近注目を集めています。

#### ▶ 多読用資料(ESL)

多読用資料(ESL)は、外国語として英語を学ぶ学習者向けの、やさしい英語で書かれた外国語教材です。使用する主要な単語数を制限し、文章の量や文法事項を調整することで、学習者が辞書無しで読書を楽しめるように工夫されています。両校地の図書館で、「Macmillan Readers」や「Oxford Bookworms Library」等のシリーズを取り揃えています。また、今出川図書館ではドイツ語の教材も備えています。積極的に活用してください。

#### ▶ グローバル・ラボ

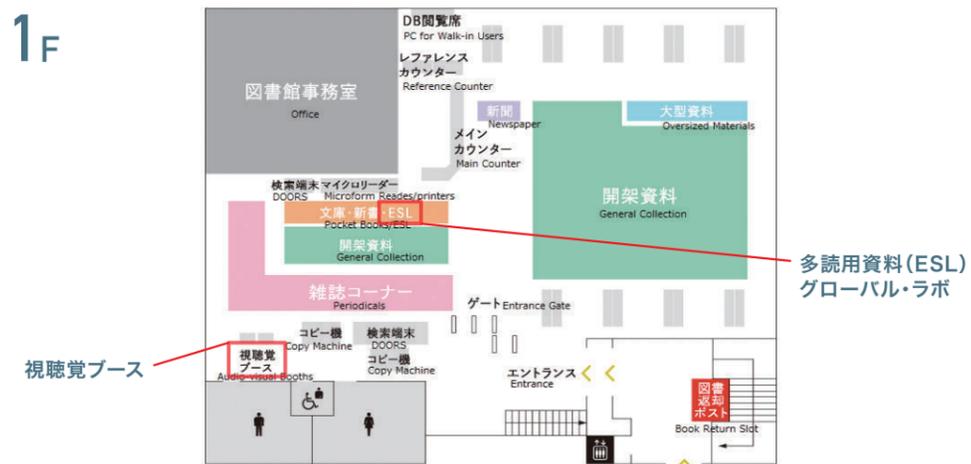
「グローバル・ラボ」では、『語学学習に役立つ・異文化理解を深める・日本文化を学ぶ』の3つをコンセプトに学びをサポートする資料を多数取り揃えています。語学学習だけでなく、留学や異文化理解等にも役立ててください。

#### ▶ その他の語学学習資料

図書館では語学検定試験対策に使える教材を用意しています。CDやDVDがセットになっているものもあり、今出川図書館では視聴覚ブース、ラーネット記念図書館ではマルチメディアコーナーで利用できますので、有効活用してください。

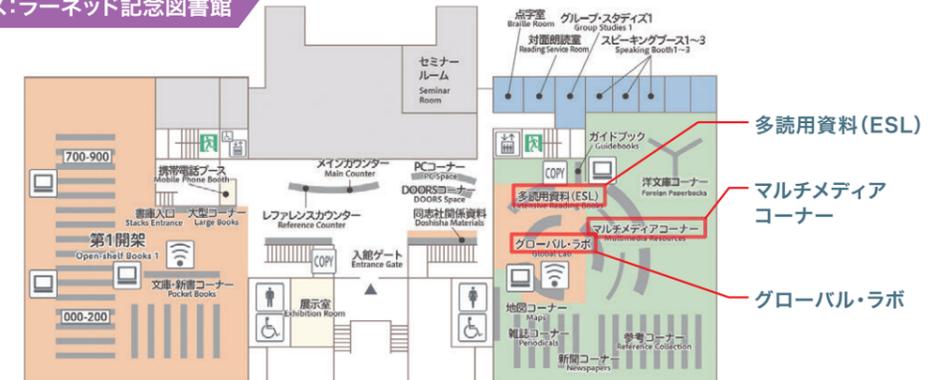
### 今出川キャンパス: 今出川図書館

1F



### 京田辺キャンパス: ラーネット記念図書館

2F



## 電子書籍の活用

多読用資料(ESL)は、多数、電子化されています。電子書籍は、時間や場所を問わず、いつでもどこでも利用できる便利な資料です。デジタルライブラリーのバナー「電子書籍を読もう!」から詳細をご確認ください。



### ■Maruzen eBook Libraryで利用できるESL

- ・Macmillan Readers(マクミランランゲージハウス)
- ・Cambridge Experience Readers(Cambridge University Press)
- ・I Talk You Talk Press(I Talk You Talk Press)
- ・Pocket Readers . 10 Ways To(HALICO)

- 1) 検索窓にキーワードを入力して検索します(出版社やジャンルでの絞り込みも可)。キーワードに「検索用」を追加すると、シリーズ一覧表示を検索できる場合があります。

- 2) 検索結果から、「試読」または「閲覧」ボタンを押すと読むことができます。「試読」には一定時間の制限がありますが、制限なくアクセスするために図書館に購入を「リクエスト」することができます。購入済資料には「閲覧」ボタンが表示され、印刷やダウンロードが可能となります(一部資料を除く)。



- 3) 利用後は速やかに「閲覧終了」ボタンを押し、次の利用者のアクセスにご配慮ください。

### ■その他に利用できるESL

Penguin Classics(Penguin Publishing Group)やVery Short Introduction(Oxford University Press)はProQuest Ebook Centralで利用できます。

## 良心館ラーニング・コモンズ「Global Village」の活用

場所:良心館ラーニング・コモンズ2階(今出川)

今出川キャンパス良心館ラーニング・コモンズ2階に、「Global Village」というエリアがあります。ここでは、留学生と日本人学生の出会いを生み出す空間です。ハイカウンターやソファでリラックスした気分で国際交流が楽しめるほか(日本語禁止)、留学コーディネーターや留学アシスタント(後述)に留学に関する様々な相談・質問ができます。グローバル社会で活躍するために必要な能力を高めたいと考えている人は、ぜひ足を運んでください。



### ラーニング・コモンズについて

ラーニング・コモンズは、今出川校地の良心館2階・3階と、京田辺校地のラーネッド記念図書館1階にあり、「ひらめき」を「実現」に変えていく様々な仕掛けが用意された自学自習空間です。また、今出川校地の新町キャンパスには、新創館1階に学習スペースとしてアカデミックプラザがあります。友人との共同学習やラーニング・コモンズ内で開催されるセミナー等を通じて、大学生として身につけておくべきスキルを培いましょう。



詳しい利用方法については、ラーニング・コモンズHP(<https://lc.doshisha.ac.jp/lc/>)を確認してください。

## 留学コーディネーター・留学アシスタント

場所:良心館ラーニング・コモンズ2階(今出川)  
嗣業館1階国際課(京田辺)

専門の留学コーディネーターが、海外で培った豊富な知識や経験をベースに、学内のプログラムに限らず幅広く皆さんの留学やグローバルキャリアデザインに関する相談に個別対応します。また、海外の協定大学から本学へ交換留学中の学生が留学アシスタント(Go Global Assistant)として良心館ラーニング・コモンズ「Global Village」で留学に関する質問に対応します。



## 国際交流ラウンジ 場所:扶桑館2階(今出川) / 嗣業館1階(京田辺)

国際交流ラウンジは、外国人留学生と国内学生が国際交流を求めて集う場です。開室時間内であれば、本学学生は自由に利用できます。他にも、ラウンジでは異文化理解に有益な書籍や資料、学内外の国際交流企画を紹介するチラシ等が閲覧でき、また各種国際交流イベントも開催されています。語学力に自信がなくても、国際交流に興味がある方であれば誰でも気軽に利用できます。まずは様子を少しのぞいてみてください。国際交流ラウンジなら、日本にいなから国籍を超えた交流と多文化理解を実現できます。



## 検定試験・対策講座

グローバル化が急速に進展する中で、外国語運用能力は皆さんの今後の選択肢の幅を大きく左右することになります。まずは自分の実力を知り、そして目標を設定し、計画的に学習を進めるようにしてください。

### 検定試験

本学学生対象または本学を会場として受験できる検定試験は以下のとおりです。各自でテストスケジュールを確認し、積極的に受験してください。

#### ▶ TOEIC® L&R IPテスト

本学ではTOEIC® L&R IPテストを年8回(2024年度実績)実施しています。受験料はTOEIC® L&Rテストよりも安く、スコアは履歴書にも記載することができますので、ぜひ活用ください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

#### ▶ TOEFL ITP® テスト

TOEFL ITP® テストは、過去に出題されたTOEFL PBT® テストの問題を使用した団体向けのテストプログラムです。本学では年7回(2024年度実績)実施しており、通常のTOEFL iBT® テストに比べて受験料が安いというメリットがあります。このテスト結果は公式スコアとして使用することはできませんが、自分の実力を測る目安として、また本学の留学プログラムへの出願や一部の英語科目登録条件として使用することができます。留学を目指す人は、積極的に受験してください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

#### ▶ IELTS™テスト

本学は一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)が一般向けに実施するテストにおいて、会場を提供しています。本学の留学プログラムにおいて、IELTS™のスコアで申請できるプログラムや協定大学も多くあります。通いなれた場所で実施されるテストを積極的に活用し、目標スコアの取得を目指してください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

#### ▶ ドイツ語検定試験A1/A2(A1:Start Deutsch 1 A2:Goethe Zertifikat A2)

ドイツ語検定試験A1/A2は、CEFRに基づく共通参照レベルで最初の段階であるA1レベルと、その次の段階であるA2レベルに相当します。A1:Start Deutsch 1は基礎的なドイツ語能力があれば受験することができ、1年間ドイツ語を学習した人(目安)を対象としています。A2:Goethe Zertifikat A2は、2年間ドイツ語を学習した人(目安)を対象としています。(詳細は<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/osa/prf.html>を確認してください。)



【問い合わせ先】 全学共通教養教育センター 【申込場所】 今出川校地:今出川キャンパス教務センター 【費用】 同志社大学で受験する場合  
京田辺校地:京田辺キャンパス教務センター A1:6,500円/A2:7,500円  
※費用は変動する可能性があります。

### 対策講座

本学学生を対象に語学試験の対策講座を以下のとおり実施しています。検定試験のスコアアップを目指す方は、積極的に受講してください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

#### ▶ TOEIC® L&Rテスト対策講座

本講座は、TOEIC® L&Rテストのスコアアップを目的に、レベル別にコースを設定し、外部講師を招いて開講します。講座受講には申込みと受講料が必要になりますが、一般的な講座と比較して安価で受講することができますので、積極的に活用してください。なお、2025年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。

#### ▶ IELTS™対策講座

IELTS™は留学や海外移住に必要な英語力を評価する試験として世界中で認められており、イギリスやアメリカなど140か国、約11,000以上の教育機関、国際機関、政府機関で採用されています。本学の派遣留学先の大学でも、語学能力を測る試験のひとつとしてIELTS™を設定している大学がたくさんありますので、講座を活用してスコアアップに取り組んでください。(講座受講には別途申込みと受講料が必要になります。) なお、2025年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。

※TOEIC® L&Rテストの「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

## 留学に関する奨学金

同志社大学では、外国派遣留学促進のための奨学金が用意されています。これらは本学の教育理念のひとつである国際主義を体得した学生を養成すべく、皆さんの外国派遣留学を促進することを目的とした奨学金ですので、ぜひ活用してください。

#### ▶ サマープログラムおよびスプリングプログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

サマープログラムおよびスプリングプログラム履修者に対する奨学金は、サマープログラムおよびスプリングプログラムに参加した学生に対し、50,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】国際センター国際課

#### ▶ セメスタープログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

セメスタープログラム履修者に対する奨学金は、セメスタープログラムに参加した学生に対し、200,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】国際センター国際課

#### ▶ EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金は、EUキャンパスプログラムに参加した学生に対し、200,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】国際センター国際課

#### ▶ 外国協定大学派遣留学生に対する奨学金(給付制・返還不要)

外国協定大学派遣留学生に対する奨学金は、大学間協定または学部間協定による派遣留学生に対して、派遣留学期間が6か月未満の場合は200,000円、6か月以上の場合は400,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】大学間協定による派遣留学の場合:国際センター国際課  
学部間協定による派遣留学の場合:所属学部窓口

## 語学カウンセリング

語学にまつわる疑問の解決、語学カアップ、目標達成のために、ぜひ利用してください。

グローバル・コミュニケーション学部ならびにグローバル地域文化学部では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語について、留学や検定試験、語学力向上のための学習方法等、語学に関する相談を受け付けています。

希望される方は、今出川・京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にて、所定の申込用紙に記入し申請してください。担当教員と面談日時を調整後、詳細を連絡します。

【問い合わせ先】全学共通教養教育センター

【申込場所】今出川校地:今出川キャンパス教務センター  
京田辺校地:京田辺キャンパス教務センター



志高館



香柏館

# 7 制度紹介

Honors Programs

同志社大学から特別な認定書

## 外国語honors(オナーズ)制度

(外国語科目成績優秀者表彰制度)

外国語honors制度(外国語科目成績優秀者表彰制度)は、高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度で、2006年度春学期から導入しています。認定書授与式では学長から外国語科目成績優秀者一人ひとりに認定書と記念品が手渡されます。また、成績証明書にも外国語honors表彰者であることが記載されます。



申請資格・申請方法

<https://www.doshisha.ac.jp/students/honors/index.html>



### オナーズ表彰者からのコメント



“Vouloir, c’est pouvoir”  
このことばを胸に  
未知の世界を探求

フランス語認定  
大竹 美麻 さん

アフリカが抱える諸問題に関心があり、グローバル地域文化学部のヨーロッパコースに進学しました。そこでフランスやベルギーへの移民問題について学ぶため、第二言語として選択したのがフランス語でした。

1年次では文法をはじめフランス語の基礎を重点的に学習し、2年次からはネイティブの先生から会話を鍛えられました。同じく2年次の春休みにはフランスに短期留学したのですが、その大学では移民を受け入れ、そういった人たちと同じ学校で学ぶことで移民問題への関心はもちろん、フランス語学習への意欲もいっそう高まりました。

オナーズ認定を申請したきっかけは、DELTA(フランス語学力資格試験)のレベルが認定基準を満たしていたこと、新しい言語の習得に挑んだ成果が認められることに魅力を感じたからです。言語を学ぶことはそれまで接してこなかった世界と関わることであり、それは新しい自分との出会いにもつながります。未知の世界や自分との出会いを求めている人は、ぜひ新たな言語を学び、オナーズ認定を目指してほしいと思います。

ちなみにわたしが好きなフランス語のことばは“Vouloir, c’est pouvoir(なせば成る)”卒業後もこのひと言を胸に刻み、大学院で移民問題をより深く研究するつもりです。



オナーズ認定は  
文武両道の「文」も  
頑張った証し

英語認定  
富山 開 さん

インターナショナルスクール系の幼稚園で最初に英語に触れました。しかし小・中・高では英語をほとんど使わず、幼いころに培った英語力を向上させたいと思いグローバル・コミュニケーション学部に進学しました。

当然ですが1年次から授業と課題に真剣に取り組み、さらに2年次に9カ月間、アメリカに留学したことでもともと自信があったリスニング力だけでなく、総合的な英語力を高められたと思います。将来はビジネスの現場で使える英語を身につけたいと考え、ゼミではビジネスイングリッシュを学びました。そこではプレゼンなどを通して、例えば主観を省くため「I」ではなく「We」を使うとか結論ファーストで議論を進めるといった、普段英語を使うときとは異なる表現の仕方や意識の持ち方を習得できたと思います。

体育会陸上競技部に所属し、オナーズ認定を目指したのは文武両道の「文」でも頑張った証しがほしかったからです。とはいえ何か特別なことをしたわけではなく、学生として当たり前のことを当たり前に取り組んだ結果を認めてもらったのだと思います。

卒業後は海外展開がメインの産業機械メーカーに就職しますが、同志社で鍛えた英語力を生かしてUSCPA(米国公認会計士)の資格を取得したいと考えています。

# Doshisha “Go Global” Passport

グローバル人材として所定の条件を満たした学生には、「Doshisha “Go Global” Passport」を授与します。

グローバルな視点で活躍するために必要な基礎知識、外国語能力、実践力が一定の基準を満たした証しとなり、成績証明書に「Doshisha “Go Global” Passport」取得者であることが記載されます。

## 「Doshisha “Go Global” Passport」授与要件について

本学に2013年度以降に入学した学部生で、次のIまたはIIのいずれかを満たした者に「Doshisha “Go Global” Passport」を授与する。2021年度以前に入学した学部生は、授与要件が異なるため国際課HPを参照すること。

I. 次の①から④のいずれかを満たし、⑤および⑥の全てを満たした者。

- ① TOEFL iBT® テスト79点以上(TOEFL iBT® Home Editionテストも可。「Test Dateスコア」のみとし、「MyBest™スコア」は認めない)、TOEFL ITP® テスト550点以上、TOEIC® L&Rテスト730点以上、TOEIC® L&R IPテスト730点以上、または別表に定めるこれらと同等の資格・スコアのいずれかを有すること。
- ② 「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1」「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2」「Study Abroad Preparation (IELTS) 1」「Study Abroad Preparation (IELTS) 2」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- ③ 初修外国語について、別表に定める資格・スコアのいずれかを有すること。
- ④ 本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価等を得ていること。
- ⑤ 「建学の精神とキリスト教」「旧約聖書とキリスト教」「新約聖書とキリスト教」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- ⑥ 「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際関係学概論」「国際文化概論」のうち2科目の単位を修得すること。

II. グローバル・リベラルアーツ副専攻を修了した者。

授与要件 ① を満たす英語の試験および資格・スコア

試験名	級 / スコア	試験名	級 / スコア
TOEFL iBT® テスト (TOEFL iBT® Home Editionテストも可。)	79~	国連英検	A級以上(該当級:A、特A)
TOEFL ITP® テスト	550~	英検	準1級以上(該当級:準1級、1級)
TOEIC® L&Rテスト	730~	ケンブリッジ英検	First Certificate以上(該当級:FCE、CAE、CPE)
TOEIC® L&R IPテスト	730~	CASEC	700~
IELTS™	6.0~		

なお、国際教育インスティテュート(ILA)においては、上記の授与要件を満たす英語運用力が一般選抜入学試験の語学要件とされているため、日本国籍を保有する入学者については同等の英語能力を持つ者とみなす。  
※TOEFL iBT® スコアは「Test Dateスコア」のみ。「MyBest™スコア」は認めない。 ※TOEIC® テストの「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。  
※IELTS™「One Skill Retakeスコア」は認めない。

授与要件 ③ を満たす初修外国語の試験および資格・スコア

言語	試験名	級 / スコア
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	ドイツ語技能検定試験	準1級以上(該当級:準1級、1級)
フランス語	DELTA	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2) (C1、C2は、試験名がDALFとなる)
	TCF 実用フランス語技能検定試験	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2) 準1級以上(該当級:準1級、1級)
中国語	漢語水平考試(新HSK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級) (GC中国語コースは5級以上) (5、6級については、3パート合計180点以上でクリア)
	中国語検定試験	3級以上(該当級:3級、2級、準1級、1級) (GC中国語コースは2級以上)
	中国語コミュニケーション能力検定	400~1,000点(該当級:レベルD、C、B、A)
スペイン語	DELE	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	スペイン語技能検定	4級以上(該当級:4級、3級、2級、1級)
ロシア語	ТРКИ	第1レベル以上(該当級:第1、第2、第3、第4レベル)
	ロシア語能力検定試験	2級以上(該当級:2級、1級)
コリア語	韓国語能力試験(TOPIK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級)
	「ハングル」能力検定試験	準2級以上(該当級:準2級、2級、1級)
	KLAT(IBKLPT)	4級以上(該当級:4級、5級、6級) (IBKLPTは350~500点)

なお、初修外国語は、上記の一覧に記載のない試験のスコアについては評価対象とはならない。

国際課 Doshisha “Go Global” Passport

[https://international.doshisha.ac.jp/goglobal\\_passport/goglobal\\_passport.html](https://international.doshisha.ac.jp/goglobal_passport/goglobal_passport.html)



# グローバル・リベラルアーツ副専攻

## 特徴

### POINT 1

#### すべての学部の学生が受講できます

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、2016年度以降に入学したすべての学部の受講を希望する学生を対象としています。所属学部・学科の専門科目とは別に、全学共通教養教育科目を定められた要件に沿って履修することで、受講することができます。

### POINT 2

#### 授業は英語、少人数で留学生とともに学ぶ対話型授業

同志社大学では、国際教養教育院が提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。これらの科目は英語で授業を行い、そのほとんどを25名程度の少人数クラス、言語や文化の異なる学生同士がともに学ぶクラスとして編成します。事前学習を徹底し、グループワーク、ディスカッション中心の対話型授業を行うことで、柔軟な思考力と異なる文化や多様な価値観をもつ人々と協働する力を身につけることができます。

副専攻の英語開講科目には、アーモスト大学をはじめ、ハーバード大学やスタンフォード大学など、アメリカの名門大学からの留学生とともに学ぶ科目もあります。



### POINT 3

#### 広い視野と多面的な思考力の養成

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」では、英語で授業を行う科目に加えて、キリスト教についての理解を深める科目など、全学共通教養教育科目を日本語で幅広く履修します。自分の専攻分野とは異なる様々な学問分野を学ぶことによって、広い視野をもって多面的に物事を思考する力を養います。

### POINT 4

#### 外国人教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、原則、外国人教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当します。

### POINT 5

#### 海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに

同志社大学には外国協定大学派遣留学生制度があり、37か国(地域)175大学(2024年12月1日現在)に半年間または1年間留学することが可能です。

海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講すると効果的です。



### POINT 6

#### 学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」を発行

※2025年度以降生対象

次頁に記載の副専攻修了に必要な要件を満たすと、学習歴のデジタル証明オープンバッジの発行ができます。就職活動等にも活用できます。



グローバル・リベラルアーツ副専攻  
オープンバッジ

### POINT 7

#### 副専攻英語開講科目は、1科目のみでも受講できます

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、1科目のみでも受講することができます。したがって副専攻の修了を目標にしない場合でも、科目内容への関心に応じ、1科目からチャレンジすることができます。

※「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、副専攻完修希望者に科目受講を保証するものではありません。クラス定員、時間割などの都合により、受講できない場合があります。

## 「グローバル・リベラルアーツ副専攻」修了要件について (2025年度以降生対象)

次の①から⑤のすべてを満たすこと。

- ① 全学共通教養教育科目のうち、「国際教養科目区分」および「クリエイティブ・ジャパン科目区分」の「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(下表)」から8単位以上修得すること。
- ② 全学共通教養教育科目のうち、「同志社科目区分」から4単位以上修得すること。
- ③ 全学共通教養教育科目のうち、「人文科学系科目区分」「社会科学系科目区分」「自然科学系科目区分」からそれぞれ2単位以上、計6単位以上修得すること。(3分野にわたり単位を修得すること。)
- ④ 全学共通教養教育科目のうち、「ライフデザイン科目区分」「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(下表)」以外の「国際教養科目区分」と「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」以外の「クリエイティブ・ジャパン科目区分」「人間科学系科目区分」の中から2単位以上修得すること。
- ⑤ 本学入学以降に受験した以下のいずれかの試験で、定められたスコアを得ていること。
  - TOEFL iBT® テスト、TOEFL iBT® Home Editionテスト 79点以上
  - TOEIC® L&Rテスト、TOEIC® L&R IPテスト 730点以上
  - TOEFL ITP® テスト 550点以上
  - IELTS (IELTSペーパー版、IELTSコンピューター版(IBCD IELTS)、IELTS TOEFL® Essentials™テスト Overall band score 8.5以上
  - オンライン版、IELTS for UKVI Overall band score 6.0以上

※詳細については『全学共通教養教育科目履修要項』を参照すること。

※⑤について、2020年4月以降のTOEFL ITP® テストのスコアは、本学実施のもののみ可。TOEFL iBT® テストおよびTOEFL® Essentials™テストについて、「Test Date スコア」のみ可。「MyBest™スコア」は認めない。TOEIC® L&R IPテスト(オンライン)のスコアは認められない。

※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形である。

※IELTSテストについて「One Skill Retakeスコア」は認めない。

※2024年度以前に入学した学生の修了要件については『全学共通教養教育科目履修要項』を参照すること。

### ▶ グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

	科目名	科目区分
海外フィールドワーク	Mid-college "Be Strong" Program	
入門・導入	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	
	Introduction to Japanese Society in the Global Context	
	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	
応用・発展	Humanities and Global Issues	
	Social Sciences and Global Issues	
	Natural Sciences and Global Issues	
各論・展開	Japan in Modern World History	国際教養科目
	International Relations in the Postwar Era	
	Issues in Japanese Culture	
	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	
	Education in the Age of Globalization	
	Issues in Intercultural Communication	
	Economy and Business in the Global Context 1	
	Economy and Business in the Global Context 2	
	Principles of Economics	
	Environmental Economics and Sustainability	
	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	
	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	
	The Divisions of Identity in Society	
	Statistics for the Social Sciences and Humanities	
	Introduction to Computer Science and Information Technology	
	Human Science in the Global Age	
	Introduction to Quantitative Data Analysis	
Conservation of Japanese Nature and Environment		
Mathematics and its History		
Science of Natural Disasters		
Advanced Seminar 1		
Advanced Seminar 2		
Advanced Seminar 3		
外国協定大学科目	Japanese Thought and Religion 1	クリエイティブ・ジャパン科目
	Japanese Thought and Religion 2	
	Tradition and Art in Japan 1	
	Tradition and Art in Japan 2	
	Japan Today 1	
	Japan Today 2	
	スタンフォード大学科目	
AKP科目		
KCJS科目		



Doshisha University